

共有ホスティングサービス 運用マニュアル

ver.20211001

目 次

1. アカウントの種類	3
2. サイトマネージャー	4
2.1. ディスク容量について	6
2.1.1. ディスク利用量の表示	6
2.1.2. Web/メール容量配分	6
2.2. メールユーザ情報設定	7
2.2.1. メールユーザ情報の追加	7
2.2.2. メールユーザパスワードの変更	9
2.2.3. メールユーザ情報の削除	11
2.2.4. メール送信/受信の安定運用	13
2.2.5. メール送受信の制限について	13
2.3. ホームページの掲載	14
2.3.1. ホームページのアップロード	14
2.3.2. CGI・PHP・SSI の利用	18
2.3.3. php.ini の編集	20
2.3.4. WordPress のインストール	22
2.3.5. WordPress のセキュリティ	27
2.4. サーバの設定	29
2.4.1. ウイルスチェック	29
2.4.2. 迷惑メールフィルタ管理	30
2.4.3. 迷惑メール隔離設定	31
2.4.4. ウェブのアクセス制限	32
2.4.5. FTP のアクセス制御	34
2.4.6. AnonymousFTP の設定	36
2.4.7. メールリングリスト管理	37
2.4.8. 独自 SSL	38
2.4.9. HTTPS ドキュメントルート統合	41
2.5. アクセスログについて	44
2.5.1. アクセスログ	44
2.5.2. アクセスログの保存期間	44
2.5.3. 直近のアクセスログの参照	45
3. メールマネージャー	46
3.1. メールアカウント管理	48
3.1.1. パスワードの変更	48
3.1.2. ディスク容量確認	48
3.1.3. メール転送設定	49
3.1.4. メール自動返信	50
4. WEB メール	51
4.1. WEB メールとは	51
4.2. WEBメールのインストール	51

4.3.	WEBメールのログイン・設定	55
4.4.	メール受信	57
4.5.	メール送信	58
5.	MYSQL	61
5.1.	MYSQLとは	61
5.2.	MYSQLの有効化	62
5.3.	MYSQLの管理	63
5.4.	MYSQLパスワードの初期化	65
6.	バックアップマネージャーの設定	66
6.1.	バックアップマネージャーのログイン	66
6.2.	スケジュール設定	67
6.3.	バックアップデータ管理	68
6.4.	FTPアカウント設定	69
6.5.	バックアップマネージャーアカウント設定	70
6.6.	FTP接続・ダウンロード	71
7.	保守、サポートについて	74
7.1.	保守	74
7.1.1.	保守と保守範囲について	74
7.1.2.	アップデート	74
7.1.3.	サービス停止	74
7.2.	サポートについて	74
7.2.1.	サポートの受付方法と時間	74
7.2.2.	サポート範囲	74
8.	サービスの終了について	75

1. アカウントの種類

アカウントの種類は次の 5 種類があります。

- ① サイト管理者（登録通知書に記載されているユーザ）
- ② メールユーザ
- ③ Web 特権ユーザ
- ④ Web ユーザ
- ⑤ AnonymousFTP

各アカウントの権限一覧表です。

	① サイト管理者	② メールユーザ	③ Web 特権ユーザ	④ Web ユーザ	⑤ AnonymousFTP
ホームページの公開	◎※1	×	◎※1	○	×
CGI の設置	○	×	○	×	×
PHP の設置	○	×	○	×	×
FTP アクセス	○	×	○	○	○※2
ログファイル参照	○	×	○	×	×
メール送受信	○	○	×	×	×
メール転送	◎※3	○	×	×	×
メーリングリスト管理	○	×	×	×	×
契約情報変更	○	×	×	×	×
アカウント管理	○	×	×	×	×
パスワード変更	◎※4	○	○	○	×

※1 サイト管理者・Web 特権ユーザはドキュメントルートへのコンテンツ設置が可能

※2 AnonymousFTP は/anonymous ディレクトリからのダウンロードのみ可能

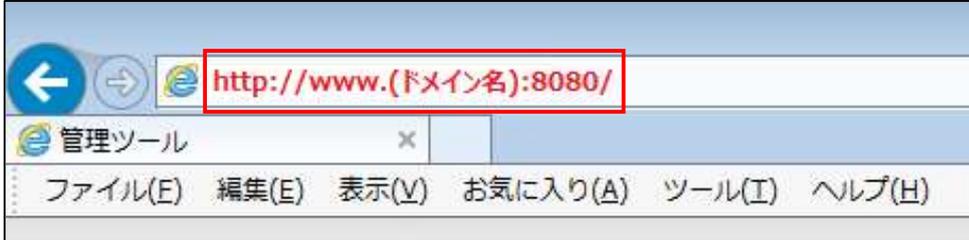
※3 サイト管理者は全メールユーザのメール転送設定が可能

※4 サイト管理者は全ユーザのパスワードのパスワード変更が可能

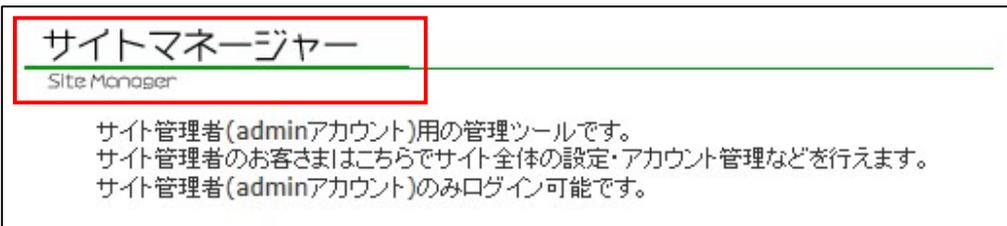
2. サイトマネージャー

ここでは、管理者専用のログイン操作について解説いたします。
サイトマネージャーは「サイト管理者」のみ利用可能です。

①登録通知書に記載されている「管理画面 URL」にブラウザでアクセスし、管理画面が表示される事を確認します。



②管理者権限で管理画面にログインする場合、「サイトマネージャー」をクリックします。



③登録通知書に記載されている「管理用 I D」「管理用パスワード」を入力し「OK」を押してください。



入力項目	備考
ユーザ名	管理用 ID
パスワード	管理用パスワード

④管理者が設定できる項目が左メニューに表示されます。

共有ホスティング サイトマネージャー エネルギア・コミュニケーションズ

TOP > サイトマネージャー > インフォメーション

インフォメーション

サイトマネージャーへようこそ。
お客様のユーザー名は「(管理用ID)」です。

所属サーバーは (所属サーバ名)、ご利用のIPアドレスは (IPアドレス) です。
使用後は必ずすべてのブラウザを終了してください。

種別	項目	網掛けの意味
	独自 SSL	有償サポートの項目です。 弊社が代行し、設定費用が別途発生いたします。 (認証局への支払い別。)
	CGI 管理 Web メール管理 MySQL 管理	サードパーティー製のアプリケーションです。 ご利用の際は、オンラインマニュアルを参照し、 利用者様自身の責任においてご利用ください。

2.1. ディスク容量について

2.1.1. ディスク利用量の表示

ディスク容量は「300GB」での提供となります。

また、ディスク利用量の参照方法は下記になります。

①「サイト管理」→「ディスク容量」→「Web/メール容量配分」をクリックすると、目的別にディスク利用量が表示されます。

共有ホスティング サイトマネージャー エネルギア・コミュニケーションズ

Web/メール容量配分変更

契約容量のうちWebとメールに割り当てる容量配分を変更します。

(ドメイン名) ドメインの現在の契約容量は300(GB)です。

75(GB)	150(GB)	225(GB)	300(GB)
■	■	■	■

使用容量 ■ 空き容量

全体契約容量	Web使用可能容量	Web使用容量	Web空き容量
307,200(MB)	150,000(MB)	146(MB)	149,854(MB)
メール使用可能容量	メール使用容量	メール空き容量	
157,200(MB)	351(MB)	156,849(MB)	

契約容量307,200 (MB)のうち150000 (MB) をWeb使用可能容量に割り当てる
(残りが自動的にメール使用可能容量になります。)

2.1.2. Web/メール容量配分

サイト管理者が「サイトマネージャー」から、ディスク容量を「Web 機能」と「メール機能」に配分することができます。

①容量配分を変更する場合は「Web 機能使用可能サイズ(容量、単位)」を入力し、「割り当てる」をクリックします。

契約容量307,200 (MB)のうち150000 (MB) をWeb使用可能容量に割り当てる
(残りが自動的にメール使用可能容量になります。)

※最小の割り当て容量は、「Web 機能：200MB」、「メール機能：100MB」です。

※ディスク使用容量が80%を超えた場合、その旨を通知するメールが以下の場合に送付されます。

- ・ご契約サーバ全体の Web/メールそれぞれの使用可能容量の80%を超えた場合、管理者宛てにメール通知
- ・メールユーザに設定された使用可能容量の80%を超えた場合、メールユーザ宛てにメール通知

2.2. メールユーザ情報設定

新規メールユーザの作成、変更、削除について解説します。

メールユーザは、個人でメールボックスを持つ場合、管理者が各個人に対して割り当てます。

管理者が作成したメールユーザは、管理者と比較して、制限された機能のみが利用できます。

2.2.1. メールユーザ情報の追加

- ① サイトマネージャーに「管理用 ID」でログインし、「メール管理」→「メールユーザ管理」→「メールユーザの登録・変更」をクリックします。

共有ホスティング サイトマネージャー エネルギア・コミュニケーションズ

TOP > サイトマネージャー > メール管理 > メールユーザ管理 > メールユーザの登録・変更

メールユーザの登録・変更

ユーザー名
使用できる文字は「a-z 0-9 _ - = [] + #」です。
1~32文字で設定してください。

パスワード
パスワード確認:

パスワード
使用できる文字は「a-z A-Z 0-9 _ - = [] + # ^ ! ?」です。
「英字 + 数字」または「英字 + 記号」、0~32文字で設定してください。

コメント
最大文字数: 半角(abc123)64文字、全角(abc123あいう)32文字です。

容量制限 (MB)
0または空白の場合は無制限になります。

メールユーザー一覧

最新の情報を更新

▼ユーザー	▼コメント	▼使用容量	▼容量	各種変更			削除
(ユーザ名)	(コメント)	(使用容量)	(容量制限)	<input type="button" value="コメント"/>	<input type="button" value="容量"/>	<input type="button" value="パスワード"/>	<input type="button" value="削除"/>
				<input type="button" value="コメント"/>	<input type="button" value="容量"/>	<input type="button" value="パスワード"/>	<input type="button" value="削除"/>
				<input type="button" value="コメント"/>	<input type="button" value="容量"/>	<input type="button" value="パスワード"/>	<input type="button" value="削除"/>

現在登録されているメーリングリスト
(ここにある名前と同じ名前は登録できません。)
メーリングリストは登録されていません。

②以下の画面が表示されます。新規メールユーザの設定情報を入力し「新規登録」をクリックします。

入力項目	備考
ユーザ名	メールアドレスを入力
パスワード	メールパスワードを入力
コメント	説明などコメントが必要な場合は入力
容量制限	ユーザのメールボックスの最大容量

メールユーザーの登録・変更

ユーザ名	<input type="text" value="(ユーザ名)"/> 使用できる文字は「a-z 0-9 . _ - = { } + # 」です。 1～32文字で設定してください。
パスワード	パスワード入力: <input type="text" value="(パスワード)"/> パスワード確認: <input type="text" value="(パスワード)"/> 使用できる文字は「a-z A-Z 0-9 . _ - = [] { } + # ^ ! ? 」です。 「英字 + 数字」または「英字 + 記号」、8～32文字で設定してください。
コメント	<input type="text" value="(コメント)"/> 最大文字数は半角(abc123)64文字、全角(abc123あいう)32文字です。
容量制限	<input type="text" value="(容量制限)"/> (MB) 0または空白の場合は無制限になります。

③登録完了しましたら、以下の画面が表示されます。

処理完了

メールユーザー (ユーザ名) さんの新規登録 が成功しました。
続けて処理を行う場合は「戻る」をクリックしてください。

[戻る](#)

2.2.2. メールユーザパスワードの変更

- ① サイトマネージャーに「管理用 ID」でログインし、「メール管理」→「メールユーザ管理」→「メールユーザの登録・変更」をクリックします。

共有ホスティング サイトマネージャー エネルギア・コミュニケーションズ

TOP > サイトマネージャー > メール管理 > メールユーザ管理 > メールユーザの登録・変更

メールユーザの登録・変更

ユーザ名: (使用できる文字は「a-z 0-9 . _ - = [] + # 」です。1~32文字で設定してください。)

パスワード: (パスワード入力:)

パスワード確認: (使用できる文字は「a-z A-Z 0-9 . _ - = [] + # ^ ! ? 」です。「英字 + 数字」または「英字 + 記号」、8~32文字で設定してください。)

コメント: (最大文字数: 半角(abc123)64文字、全角(abc123あいう)32文字です。)

容量制限: (0) (MB) (または空白の場合は無制限となります。)

メールユーザ一覧

▼ユーザ	▼コメント	▼使用容量	▼容量	各種変更			削除
(ユーザ名)	(コメント)	(使用容量)	(容量制限)	コメント	容量	パスワード	削除
				コメント	容量	パスワード	削除
				コメント	容量	パスワード	削除
				コメント	容量	パスワード	削除

現在登録されているメーリングリスト
(ここにある名前と同じ名前は登録できません。)
メーリングリストは登録されていません。

- ② 「メールユーザ一覧」より、対象のユーザの「パスワード」をクリックします。

メールユーザ一覧

▼ユーザ	▼コメント	▼使用容量	▼容量	各種変更			削除
(ユーザ名)	(コメント)	(使用容量)	(容量制限)	コメント	容量	パスワード	削除
				コメント	容量	パスワード	削除
				コメント	容量	パスワード	削除
				コメント	容量	パスワード	削除

- ③ 以下の画面が表示されますので、新しいパスワードを設定し、「変更」をクリックします。

パスワードの変更

パスワード入力: (パスワード)

パスワード確認: (パスワード)

パスワードは「英字 + 数字」もしくは「英字 + 記号」を使用する必要があります。
使用できる文字は「a-z A-Z 0-9 . _ - = [] + # ^ ! ? 」です。
8~32文字で設定してください。

④パスワード変更が完了すると、以下の画面が表示されます。



2.2.3. メールユーザ情報の削除

- ① サイトマネージャーに「管理用 ID」でログインし、「メール管理」→「メールユーザ管理」→「メールユーザの登録・変更」をクリックします。

共有ホスティング サイトマネージャー エネルギア・コミュニケーションズ

TOP > サイトマネージャー > メール管理 > メールユーザ管理 > メールユーザの登録・変更

メールユーザの登録・変更

ユーザ名: (使用できる文字は「a-z 0-9 _ - = {} + #」です。1~32文字で設定してください。)

パスワード: (パスワード入力)

パスワード確認: (パスワード確認)

コメント: (最大文字数: 半角(abc123)64文字、全角(abc123あいう)92文字です。)

容量制限: (MB) (0 または空白の場合は無制限となります。)

メールユーザ一覧

▼ユーザ	▼コメント	▼使用容量	▼容量	各種変更			削除
(ユーザ名)	(コメント)	(使用容量)	(容量制限)	コメント	容量	パスワード	削除
				コメント	容量	パスワード	削除
				コメント	容量	パスワード	削除
				コメント	容量	パスワード	削除

現在登録されているメーリングリスト
(ここにある名前と同じ名前は登録できません。)
メーリングリストは登録されていません。

- ② 「メールユーザ一覧」より対象ユーザの「削除」をクリックします。

メールユーザ一覧

▼ユーザ	▼コメント	▼使用容量	▼容量	各種変更			削除
(ユーザ名)	(コメント)	(使用容量)	(容量制限)	コメント	容量	パスワード	削除
				コメント	容量	パスワード	削除
				コメント	容量	パスワード	削除
				コメント	容量	パスワード	削除

- ③ 以下の画面が表示されますので、注意事項を確認し、「削除」をクリックします。

アカウントの削除

(ユーザ名)さんのアカウントを削除します。
削除をクリックすると削除が実行されます。

<注意>

- ・ 予めメールクライアントソフト側のアカウント設定の削除をお願いします。
- ・ 削除を実行すると(ユーザ名)さんの全てのファイルも同時に削除されます。
削除を実行すると元に戻す事は出来ません。

④削除が完了すると、以下の画面が表示されます。



2.2.4. メール送信/受信の安定運用

①メール送信/受信の安定運用の目安

メールの送信/受信時、本サービスで安定運用を目的に制限を設けております。

下記を超えた場合動作が不安定となる場合があります。

通常時	100通/分
1時間あたり	1,000通以下

②POP/IMAP 接続の安定運用の目安

POP/IMAP メールを送信/受信時、安定運用を目的に制限を設けております。

下記を超えた場合動作が不安定となる場合があります。

ユーザ単位	100以下
受信間隔	30分以上

2.2.5. メール送受信の制限について

外部からの不正アクセスなど、悪意ある行為を防ぐための機能を搭載しています。

メールの送受信時において、認証失敗が短時間に繰り返された場合、サーバへのアクセスを一時的に遮断します。

一定時間内にひとつのサーバ IP アドレスにおけるメールの送受信数が、本サービスで定めた制限値を超えると、

メール配送(送信/受信)が一定時間できなくなります。

2.3. ホームページの掲載

ホームページの掲載方法について解説します。

ホームページ自体の作成方法（HTML の作成方法や画像の準備方法など）につきましてはこちらで解説を行いませんので、必要な方はホームページ作成ソフトや書籍等をご用意ください。

2.3.1. ホームページのアップロード

ホームページの掲載（アップロード）には、FTP ソフトを利用します。FTP ソフトは管理者様でダウンロードしてください。ここでは、代表的な FTP ソフトのひとつである「FFFTP」を例に手順を説明いたします。その他の FTP ソフトでも、設定項目は同じですので、参考にしてください。

事前に準備が必要なもの

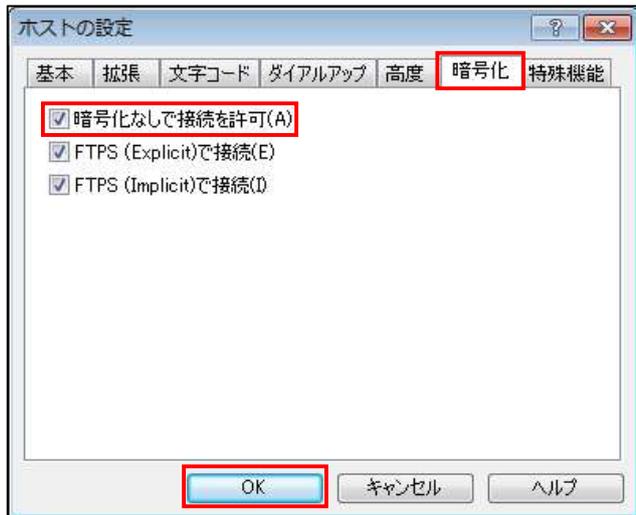
- ・FFFTP などの FTP ソフト（※ダウンロードが必要です）
- ・登録通知書に記載されている「ドメイン名」
- ・登録通知書に記載されている「管理用 ID」「管理用パスワード」、または「サイトマネージャー」より登録した「Web 特権ユーザ」の「ユーザー名」「パスワード」
- ・アップロードするホームページのファイル(HTML など)

FFFTP の設定

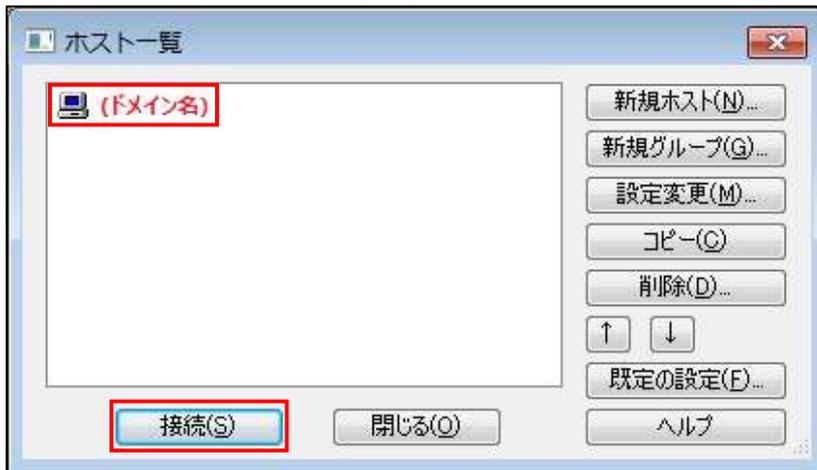
①FFFTP を起動すると右の図の「ホスト一覧」画面が表示されますので、「新規ホスト」をクリックします。



④「暗号化」タブの「暗号化なしで接続を許可」にチェックを入れ、「OK」ボタンを押します。



⑤ホスト一覧に戻りますので、手順①～④で追加した設定を選択後、「接続」ボタンをクリックします。



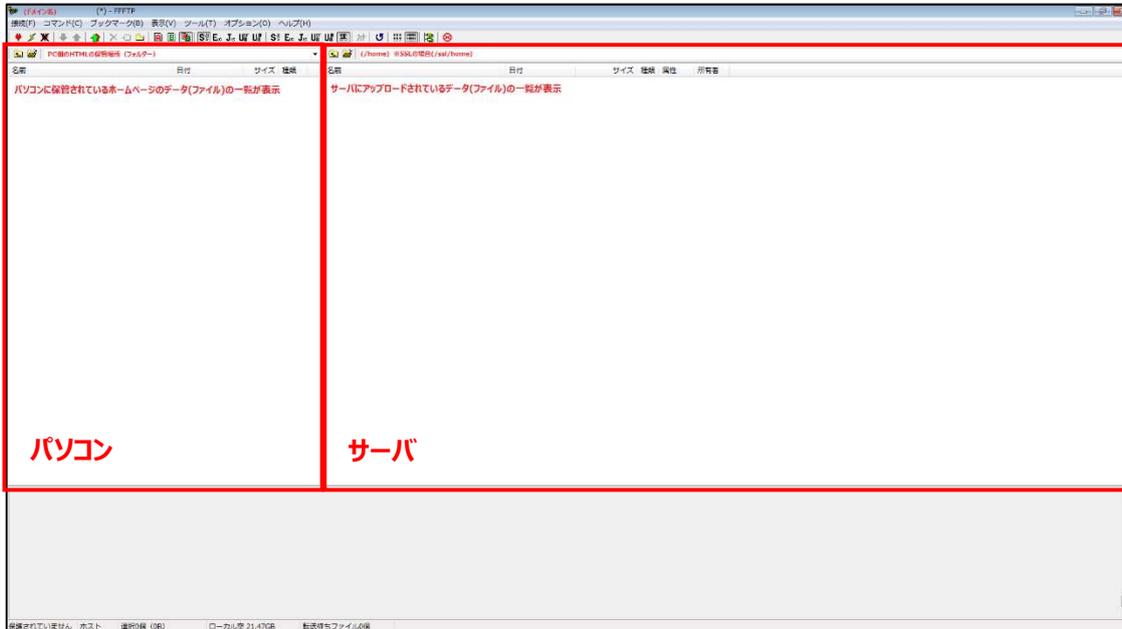
※2 回目以降は以下の操作のみ行います。

ファイルのアップロード

接続に成功すると下の画面が表示されます。

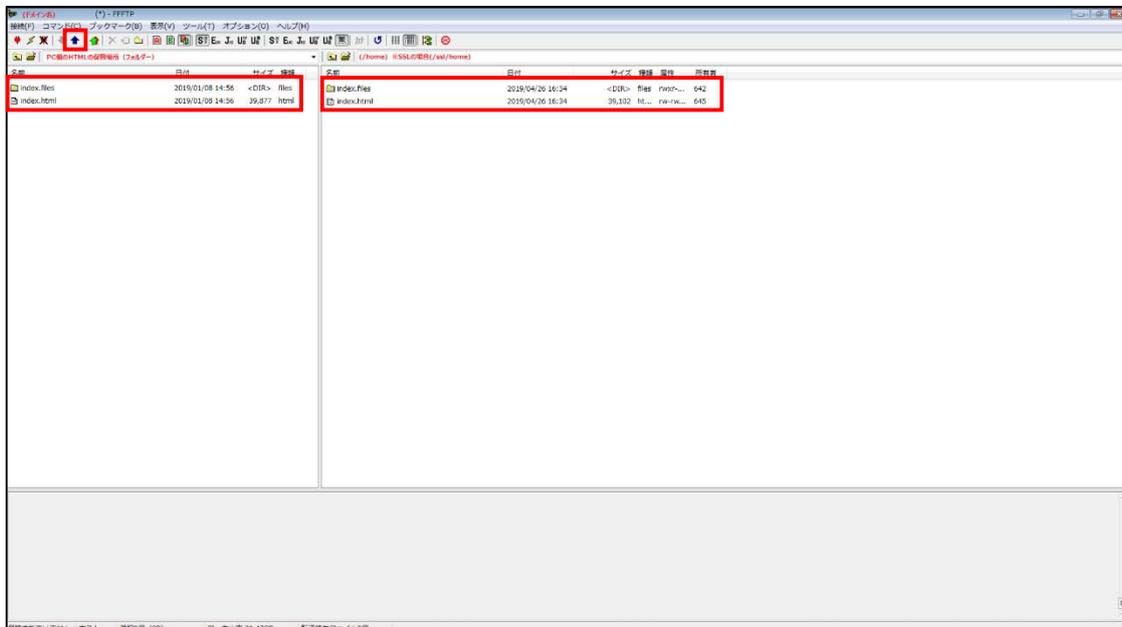
左半分が管理者のパソコンに保管されているホームページのデータです。

右半分はサーバにアップロードされているファイルの一覧となっています。



①左のファイルリストから、アップロードするファイルを選択し、「アップロード 」をクリックします。

②選択したファイルリストが、右のサーバ側にも表示されればアップロード完了です。



③ブラウザで「http://www.【ドメイン名】/」にアクセスして、ホームページが表示されるかをご確認ください。

2.3.2. CGI・PHP・SSI の利用

CGI・PHP・SSI の利用方法について説明いたします。

CGI・PHP・SSI 自体の作成方法につきましてはこちらで解説を行いませんので、必要な方は書籍等をご用意ください。

①対象ユーザ

CGI・PHP を使用できるのは、**サイト管理者(admin)・Web 特権ユーザー**です。

SSI を使用できるのは、**サイト管理者(admin)・Web 特権ユーザー・Web ユーザー**です。

②設置ディレクトリ

サイト管理者(admin)・Web 特権ユーザー

	/home	/cgi-bin	/cgi-def
CGI	○	○	○
PHP(モジュールタイプ)	○	×	×
PHP(CGI タイプ)	○	○	○
SSI	◎	×	×

Web 特権ユーザー

	/home
CGI	×
PHP(モジュールタイプ)	×
PHP(CGI タイプ)	×
SSI	○

※2019/08/29 以前に「クイック認証 SSL」オプションサービスをご契約いただいた場合は /ssl ディレクトリの中に SSL コンテンツ用の home ・cgi-bin ・cgi-def ディレクトリが作られます。そちらのディレクトリについても上記の表と同じように動作します。

③CGI の対応言語

CGI の言語は Perl・Ruby・C 言語・シェルスクリプト・Python・PHP に対応しています。

プログラム	バージョン	パス
Perl	5.10	/usr/bin/perl /usr/local/bin/perl
Ruby	2.0.0	/usr/bin/ruby
Python	2.6.6	/usr/bin/python
PHP	5.1/5.3/5.6/7.2 (CGI モード) 5.6 (モジュールモード)	/usr/local/bin/php

/home・/ssl/home ディレクトリ内に CGI を置く場合、CGI の実行ファイル(プログラムファイル)の拡張子を.cgi にする必要がございます。 .cgi 以外の拡張子のファイルは CGI として実行されません。

/cgi-bin・/cgi-def・/ssl/cgi-bin・/ssl/cgi-def ディレクトリ内では、拡張子にかかわらずすべてのファイルが CGI の実行ファイルとして扱われますので、拡張子に制限はございません。

④CGI の設置方法

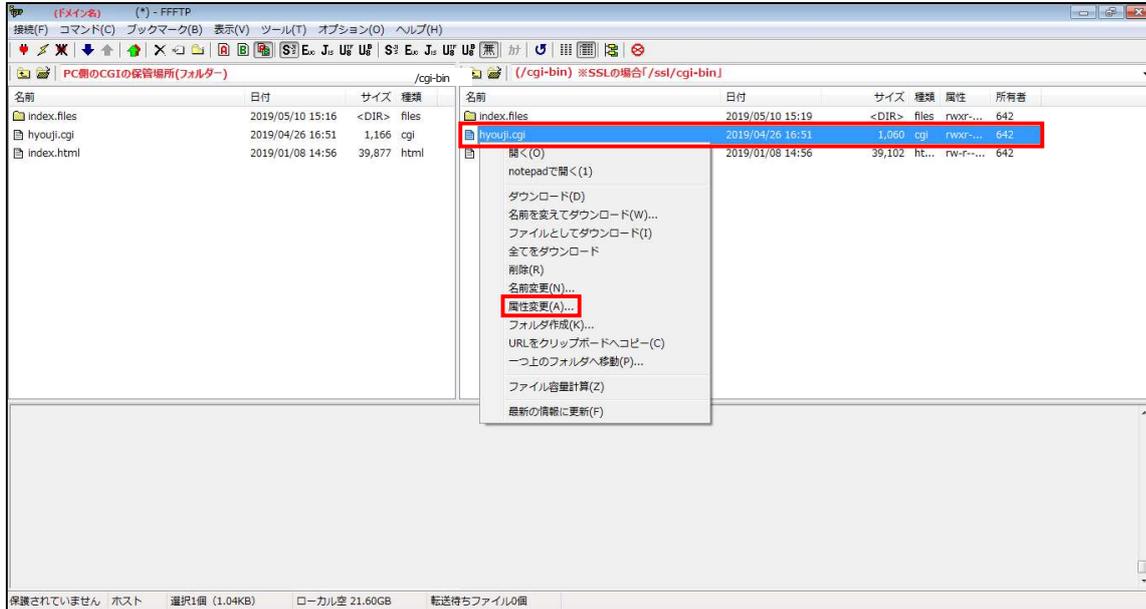
CGI の設置方法はホームページのアップロードと同じです。

また、アップロードしたファイルには実行権限をつける必要があります。

CGI アップロードディレクトリ : 「※②設置ディレクトリ」を参照

CGI へ実行権限をつける方法

① 該当の CGI ファイルを選択し、マウスの右ボタンをクリック後、メニューが表示されますので、「属性変更」をクリックします。



② 属性変更画面が表示されますので、「属性設定について」の通りにチェックをつけて「OK」を押してください。

その他の権限は、必要に応じて設定して下さい。



属性設定について(推奨値)	
所有者名	設定値
所有者	「呼出」、「書込」、「実行」
グループ	なし
その他	なし

CGI で利用する PATH	
Perl	/usr/bin/perl

2.3.3. php.ini の編集

PHP7.2 CGI タイプおよび PHP5.6 CGI タイプをご利用時に、PHP 各種設定値 (php.ini) を編集することができます。

<ご注意>

php.ini 編集設定は上級者向けの機能です。お客さま責任の元ご利用ください。
編集後、動作不具合が発生しても一切の責任を負いかねます。

サイトマネージャーにログインし、「CGI 管理」>「php.ini 編集」をクリックします。

PHP バージョンを選択し、「編集」ボタンをクリックします。

TGP > サイトマネージャー > Web&FTP管理 > CGI管理 > php.ini 編集

php.ini 編集

<ご注意>
PHP.ini 編集設定は上級者向けのサポート対象外機能です。お客さま責任の元ご利用ください。
編集後、動作不具合が発生しても一切の責任を負いかねます。

■php.ini 編集される前に
PHPのバージョンを選択しないまま、php.ini編集機能を利用しても設定は反映されません。

入力設定した値は上書きされます。
入力設定がない項目は標準設定となります。
設定済みの内容を削除すると、標準の値に戻ります。

ご利用中のPHPのバージョンを選択してください。

PHPバージョン

PHP 5.6 CGIタイプ

PHP 7.2 CGIタイプ

編集

<ご契約サーバーの php.ini 標準設定を確認する方法>

1. テキストエディタ(メモ帳等)で以下を記述して、ファイル名「phpinfo.php」保存。
<?php
phpinfo();
?>
2. FTPで1.で作成したファイルをドキュメントルートへアップロード
3. ブラウザで http://利用ドメイン名/phpinfo.php にアクセス

編集画面で設定値を変更したい項目と設定値を入力します。その後、確認し完了してください。

指定した項目の設定値が上書きされます。

編集設定した内容を削除するとデフォルト値に戻ります。



2.3.4. WordPress のインストール

WordPress のサイトマネージャーを利用した簡易インストール方法について説明いたします。

WordPress の手動インストールおよび WordPress 自体の利用方法につきましてはこちらで解説を行いませんので、必要な方は書籍等をご用意ください。

インストールの流れ

- ① PHP バージョンの切り替え
- ② WordPress インストール先選択
- ③ MySQL の On
- ④ WordPress セットアップ

① PHP バージョンの切り替え

サイトマネージャー（http://（ドメインまたは IP アドレス）:8080/）にログインし、左メニューの「CGI 管理」>「PHP バージョンの切り替え」をクリックします。

最新の PHP バージョンが設定されていない場合、最新の PHP バージョンを選択し、「設定」をクリックします。

最新の PHP バージョンが既に設定されている場合、本手順は不要です。



② WordPress インストール先選択

「WordPress」>「WordPress インストール」をクリックします。

インストール先フォルダ名を指定し、「インストール」をクリックします。フォルダ名は入力必須なので必ず指定してください。



インストール先を確認し、「インストールする」をクリックします。

WordPressインストール

以下の内容でWordPressをインストールします。

通信形態	http サイト(非暗号化)
インストール先	/home/wp/

インストールが完了すると、セットアップ URL が表示されますので、控えておいてください。
「④ WordPress セットアップ」で必要になります。

③ MySQL の有効化

WordPressインストール

WordPressをインストールしました。

総てセットアップを開始します。
メニューの「MySQLのON-OFF」で、データベースをONにします。
ONにしたデータベース名、ユーザー名、パスワード情報を手元に用意してセットアップ画面へ進んでください。

セットアップのURL httpサイトの方(非暗号化)	http://お客さまドメイン/指定したフォルダ名/
-------------------------------	----------------------------

「[5.2.MySQLの有効化](#)」を参照し、MySQL を使用できるように設定します。

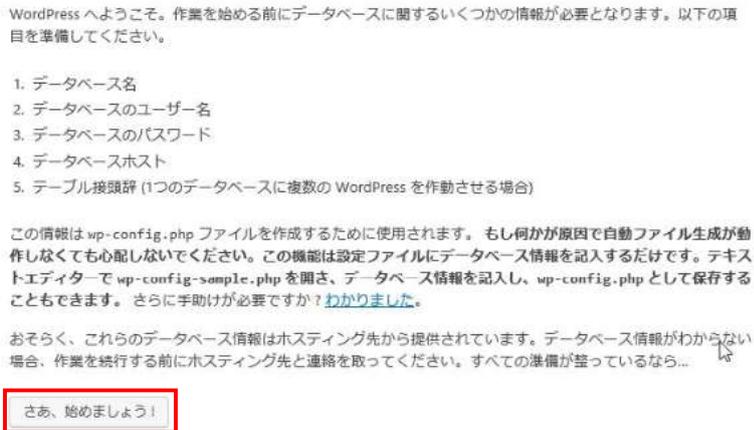
「④ WordPress セットアップ」で、使用する DB のデータベース名、ユーザ名、パスワードが必要なため、控えておいてください。初期の DB パスワードはサイト管理者 (admin) のパスワードと同一です。

データベース1

データベース名	g00238bdb1	(例)
ユーザー名	g00238bp	(例)
パスワード	※パスワードについての詳細は、このページ最下部の注意事項をお読みください。	
使用容量(MB)	1 (MB)	
ON/OFF	<input checked="" type="radio"/> ONにする <input type="radio"/> OFFにする	<input type="button" value="設定"/>

④ WordPress セットアップ

「② WordPress インストール先選択」で控えておいた URL をブラウザに入力しアクセスします。「さあ始めましょう！」をクリックします。



「③ MySQL の On」で控えておいた、データベース名、ユーザ名、パスワードを入力します。すべての項目を入力後、「送信」をクリックします。

データベースに接続できることが確認されると、下記の画面が表示されるので、「インストール実行」をクリックしてください。

この部分のインストールは無事完了しました。WordPress は現在データベースと通信できる状態にあります。準備ができていますなら...

インストール実行

※「データベース接続確立エラー」と表示される場合は、サイトマネージャー上でデータベースがオンになっていること、またはデータベース名、ユーザー名、パスワードの値が正しいか再度確認してください。

WordPress の基本的な設定内容を入力します。すべて入力したら「WordPress をインストール」をクリックしてください。

WordPress の有名な5分間インストールプロセスへようこそ！以下に情報を記入するだけで、世界一拡張性が高くパワフルなパーソナル・パブリッシング・プラットフォームを使い始めることができます。

必要情報

次の情報を入力してください。ご心配なく、これらの情報は後からいつでも変更できます。

サイトのタイトル

ユーザー名
ユーザー名には、半角英数字、スペース、下線、ハイフン、ピリオド、アットマーク (@) のみが使用できます。

パスワード
強力 **10文字以上の英数字・記号を指定してください。**
重要: ログイン時にこのパスワードが必要になります。安全な場所に保管してください。

メールアドレス
次に進む前にメールアドレスをもう一度確認してください。

検索エンジンでの表示 検索エンジンがサイトをインデックスしないようにする
このリクエストを尊重するかどうかは検索エンジンの設定によります。

WordPress のインストールが完了しました。
「ログイン」ボタンをクリックして管理画面に移動してください。

成功しました！

WordPress をインストールしました。ありがとうございます。それではお楽しみください！

ユーザー名 **先ほど設定したユーザー名**

パスワード **選択したパスワード。**

ユーザー名、パスワードを入力し、ログインします。

ユーザー名またはメールアドレス

パスワード

ログイン状態を保存する

ログインに成功し、管理画面が表示されることを確認します。



以上で WordPress のインストールは終了です。

WordPress の管理画面の URL は以下になります。次回以降はこちらから管理画面へアクセスしてください。

<http://お客さまドメイン/指定したフォルダ名/wp-admin/>

※指定したフォルダ名：「② WordPress インストール先選択」にて指定したフォルダ名

2.3.5. WordPress のセキュリティ

① WordPress の更新

WordPress では脆弱性に対する更新が頻繁に行われています。脆弱性対策のために WordPress 本体、プラグイン、テーマのバージョンを最新にすることを推奨します。

初期設定

対象	自動更新	備考
(WordPress 本体) メジャーバージョン	無効	機能追加などの更新 (例 4.9.x)
(WordPress 本体) マイナーバージョン	有効	セキュリティに関する更新 (例 x.x.4)
プラグイン	無効	
テーマ	無効	
翻訳	有効	

※自動更新が無効となっているものについては、バックアップを取得後にバージョンアップを実施することを推奨します。

メジャーバージョンアップについて

バージョンアップは手動で実施する必要があります。

WordPress の管理画面 (<http://お客さまドメイン/指定したフォルダ名/wp-admin/>) にログインし、メニューから「更新」を選択すると「WordPress の更新」ページが開きます。「今すぐ更新」をクリックすると開始します。



マイナーバージョンアップについて

バージョンアップは自動で実施されます。セキュリティ上、初期設定のままのご利用を推奨します。

運用上、自動更新を停止したい場合は **wp-config.php** に下記を追加

```
define( 'AUTOMATIC_UPDATER_DISABLED', true );
```

※自動更新の停止設定は、セキュリティリスクを伴います。

プラグインのバージョンアップについて

メニューから「更新」を選択すると「WordPress の更新」ページが開きます。画面を下にスクロールするとプラグインの情報が表示されます。

現在の WordPress のバージョンとの互換性が 100%になっていることを確認し、チェックボックスを ON にした後、「プラグインを更新」をクリックすると開始します。



テーマのバージョンアップについて

メニューから「更新」を選択すると「WordPress の更新」ページが開きます。画面を下にスクロールするとテーマの情報が表示されます。

チェックボックスを ON にした後、「テーマを更新」をクリックすると開始します。



2.4. サーバの設定

サーバ自体の設定項目、またはサーバ利用者全員に反映される設定項目について解説します。

2.4.1. ウイルスチェック

お客さまドメインで送受信された全てのメールで、ウイルスチェックが実行されます。

ここでは、ウイルスを検知した場合のサーバ動作を設定することができます。

- ①「メール管理」→「ウイルスチェック」→「警告メールの送信 ON-OFF」をクリックします。
- ②「ウイルスメール検知レポート送信」「警告メール送信」各項目について ON、OFF を選択し、「変更する」をクリックします。

The screenshot shows the '警告メールの送信 ON-OFF' (Warning Email ON-OFF) settings page. The page title is '警告メールの送信 ON-OFF'. Below the title, there is a description: '契約IPアドレスで送受信されたすべてのメールでウイルスチェックが実行されます。ウイルスメール検知レポートの送信設定および、ウイルス検知時の警告メール送信の設定を行います。' (Virus check is performed on all emails sent and received from the contracted IP address. Set the transmission of virus email detection reports and the warning email transmission when a virus is detected.)

The settings are organized into two sections:

- ウイルスメール検知レポート送信 (Virus Email Detection Report Transmission):** This section has a description: 'ウイルス情報を送信するしないを選択することができます。履歴はvirusadmin@ (所属サーバ名) から毎日送信されます。' (You can choose whether to send virus information or not. The history is sent daily from virusadmin@ (server name)). It includes radio buttons for ON and OFF, with OFF selected. There is a text input field for the email address, currently containing '(送信先メールアドレス)'. The entire section is highlighted with a red box.
- 警告メール送信 (Warning Email Transmission):** This section has a description: '警告メールの送信をONにしている場合、ウイルスメールを検知するたびにお客さま宛てにウイルスメール検知をお知らせするメールを送信します。' (When warning email transmission is ON, an email is sent to the customer every time a virus email is detected). It includes radio buttons for ON and OFF, with OFF selected. This section is also highlighted with a red box.

At the bottom of the page, there is a button labeled '変更する' (Change), which is also highlighted with a red box.

2.4.2. 迷惑メールフィルタ管理

ご契約 IP アドレス内のメールアドレス宛に配送されるメールに対して、迷惑メールのチェックを行います。迷惑メールと判定されたメールは、メールのヘッダに迷惑メールであることが記載されます。また、お客様の設定により題名(Subject)への指定文字列の追加が可能です。

- ①「メール管理」→「迷惑メールフィルタ管理」→「迷惑メールフィルタ ON-OFF」をクリックし、「設定」項目設定後に「設定」をクリックします。

迷惑メールフィルタ ON-OFF

迷惑メールフィルタはご契約IPアドレス単位で実施されます。ここで行う設定は同一契約IPアドレス内のすべてのメールアドレスに適用されます。

現在迷惑メールフィルタはONに設定されています。

設定

- ON ヘッダー追加、件名(Subject)への指定文字列追加なしに設定する。
- ON ヘッダー追加、件名(Subject)への指定文字列追加ありに設定する。
指定文字列: (X)
- OFF 迷惑メールフィルタなしに設定する。

使用できる文字は「a-z A-Z 0-9 . _ - = [] { } + # ^ ! ?」です。
16文字以内で設定してください。

設定 **リセット**

【設定の説明】

ON ヘッダー追加、件名(Subject)への指定文字列追加なしに設定する。
すべてのメールのヘッダ行に「X-Spam-Scan:through」が追加されます。受信したメールが迷惑メールと判定された場合は「X-Spam-Flag: yes」がヘッダ行に追加されます。

ON ヘッダー追加、件名(Subject)への指定文字列追加ありに設定する。
上記に加え、件名に任意の文字を付加できます。これによりメールの件名(Subject)を見ることで迷惑メールの判別が可能となります。

OFF 迷惑メールフィルタなしに設定する。
迷惑メールフィルタリングを行いません。

【設定項目】		
No.	設定値	備考
1	ON ヘッダ追加、題名(Subject)への指定文字列追加なしに設定する。	サーバにおいて、迷惑メールのチェックを行います。 全てのメールのヘッダ行に「X-Spam-Scan: through」が追加されます。 受信したメールが迷惑メールと判定された場合は「X-Spam-Flag: yes」がヘッダ行に追加されます。
2	ON ヘッダ追加、題名(Subject)への指定文字列追加ありに設定する。	サーバにおいて迷惑メールのチェックを行います。 全てのメールのヘッダ行に「X-Spam-Scan: through」が追加されます。 受信したメールが迷惑メールと判定された場合は「X-Spam-Flag: yes」がヘッダ行に追加され、題名の先頭にお客さまご指定の文字列を付加します。 題名に付加する指定文字列には、「A-Z a-z 0-9 . _ - = [] { } + # ^ ! ?」が使用可能となり、文字数は半角で 15 文字以内です。
3	OFF 迷惑メールチェックなしに設定する。	サーバにおいて、迷惑メールのチェックを行いません。

2.4.3. 迷惑メール隔離設定

迷惑メール隔離設定とは、迷惑メールフィルタで迷惑メールと判定したメールを隔離する設定です。

- ①「メール管理」→「迷惑メールフィルタ管理」→「迷惑メール隔離設定」をクリックします。
- ②対象ユーザの「隔離する」「隔離しない」を選択し「設定」をクリックします。

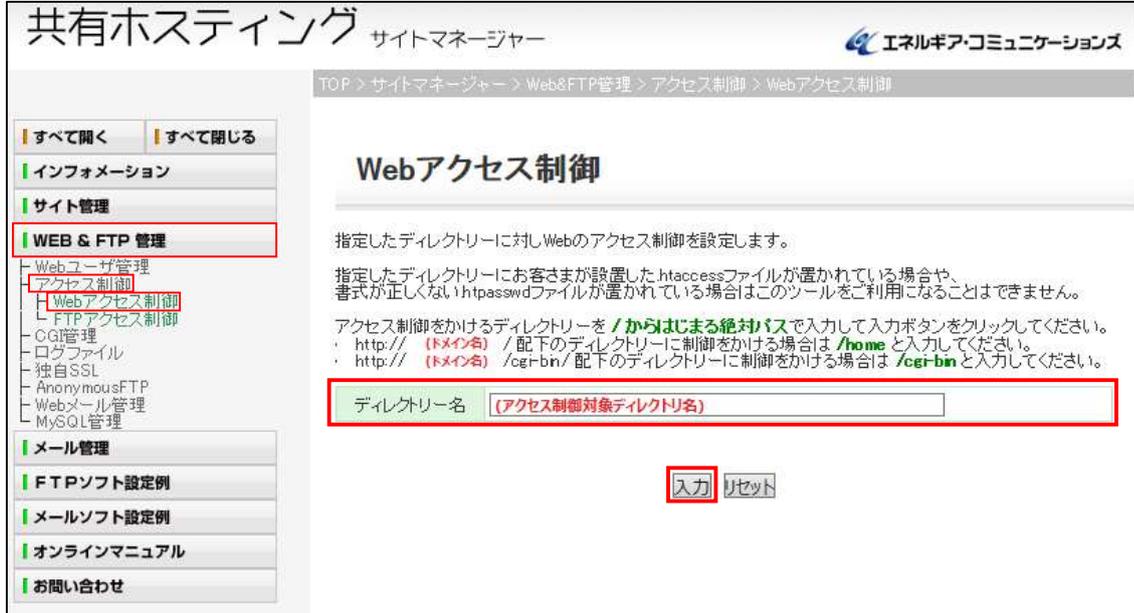


[仕様]	
No.	説明/備考
1	メールユーザの新規登録時には、 デフォルトで迷惑メール隔離機能が「ON」で設定されます。
2	隔離されたメールは、 メールボックスの「MEIWAKU」フォルダに一定期間(14日)保存され、自動削除されます。
3	MEIWAKU フォルダ内に隔離されているメールにつきましても、メールユーザの使用容量に含まれますので、 残り使用可能容量にご注意ください。
4	隔離され、MEIWAKU フォルダに保存されたメールは、POP3 経由では取得できません。 Web メール(Denbun)または、IMAP4 経由で取得してください。
5	メールが隔離された場合、自動返信およびメール転送は行われません。
6	メンバーリスト宛の迷惑メールは隔離できませんが、メンバーに対しては、次の 2 パターンの動作となります。 ①自ドメインのメールアドレスメンバー：各自のメールボックスに届くときに隔離が行われます。 ②外部ドメインのメールアドレスのメンバー：迷惑メールの判定は行われますが隔離は行われません。
7	必要なメールが迷惑メールと判断され、隔離される可能性がございます。
8	迷惑メールフィルタが「ON」の場合のみ有効です。
9	迷惑メール隔離設定を行った後、迷惑メールフィルタを「OFF」にすると、メールユーザ毎の設定内容は全て失われます。
10	管理者は、サイトマネージャーより全アカウント隔離設定を行うことができます。

2.4.4. ウェブのアクセス制限

公開中のホームページにパスワードや接続元によるアクセス制限をかける方法について解説します。

- ①「WEB&FTP 管理」→「アクセス制御」→「Web アクセス制御」をクリックします。
- ②アクセス制限を掛けたいディレクトリ名を指定し「入力」をクリックします。



※指定したディレクトリにお客様が設置した「.htaccess」ファイルが置かれている場合や、書式が正しくない「.htpasswd」ファイルが置かれている場合は、このツールをご利用になることは出来ません。

アクセス制限の設定を行うと制限をかけたディレクトリに「.htaccess」や「.htpasswd」ファイルが作成されますが、このファイルは削除・変更しないでください。正常に動作しなくなる可能性があります。

③ アクセス制御の方式を選択し、「設定」をクリックします。

[設定項目]		
No.	設定値	備考
1	パスワード認証によるアクセス制御	Web へのアクセスをパスワードにより制御する場合に選択します。 こちらを選択すると、次の画面にユーザ登録画面が現れます。
2	アクセス元のアドレスによるアクセス制御	Web へのアクセスを、IP アドレスまたはドメインで制御する場合に選択します。 「制限のポリシー」を選択→指定する「IP アドレス」または「ドメイン名」を指定します。

2.4.5. FTP のアクセス制御

FTP に接続元によるアクセス制限をかける方法について解説します。

- ①「WEB&FTP 管理」→「アクセス制御」→「FTP アクセス制御」をクリックします。
- ②アクセス制限を掛けたいディレクトリ名を指定し「入力」をクリックします。

共有ホスティング サイトマネージャー エネルギア・コミュニケーションズ

TOP > サイトマネージャー > Web&FTP管理 > アクセス制御 > FTPアクセス制御

FTPアクセス制御

指定したディレクトリーに対しFTPのアクセス制御を設定します。

指定したディレクトリーにお客さまが設置した.ftpaccessファイルが置かれている場合はこのツールをご利用になることはできません。

アクセス制御をかけるディレクトリーを / から始まる絶対パスで入力して入力ボタンをクリックしてください。

- ftp://admin@ (ドメイン名) /home/ 配下のディレクトリーに制御をかける場合は /homeと入力してください。
- ftp://admin@ (ドメイン名) /cgi-bin/ 配下のディレクトリーに制御をかける場合は /cgi-binと入力してください。

ディレクトリー名: (アクセス制御対象ディレクトリ名)

入力 リセット

アクセス制限の設定を行うと制限をかけたディレクトリに「.ftpaccess」ファイルが作成されますが、このファイルは削除・変更しないでください。正常に動作しなくなる可能性があります。

③ アクセス制御の方式を選択し、「設定」をクリックします。

共有ホスティング サイトマネージャー

TOP > サイトマネージャー > Web&FTP管理 > アクセス制御 > FTPアクセス制御

| **すべて開く** | **すべて閉じる**

| インフォメーション

| サイト管理

| **WEB & FTP 管理**

└ Webユーザ管理

└ アクセス制御

└ Webアクセス制御

└ FTPアクセス制御

└ CG管理

└ ログファイル

└ 独自SSL

└ AnonymousFTP

└ Webメール管理

└ MySQL管理

| メール管理

| FTPソフト設定例

| メールソフト設定例

| オンラインマニュアル

| お問い合わせ

FTPアクセス制御

(ディレクトリ名)ディレクトリー(URL(ftp://xxxx.xxx.xxx))のアクセス制御設定を行います。

アクセス元のIPアドレス/ドメイン名によるアクセス制御

アクセス元の制御をかける場合、上のチェックボックスにチェックを付けてください。チェックを外すとアクセス元による制御は行われなくなり、設定内容は削除されます。

制御のポリシー

○ 指定したIPアドレス/ドメイン名を拒否 (その他のIPアドレス/ドメイン名をすべて許可)

○ 指定したIPアドレス/ドメイン名を許可 (その他のIPアドレス/ドメイン名をすべて拒否)

指定するIPアドレス/ドメイン名

(アクセス元IPアドレス)

もしくは

(アクセス元ドメイン名)

IPアドレス/ドメイン名を指定してください。
 複数のIPアドレス/ドメイン名を指定する場合、1行につきひとつのIPアドレスまたはドメイン名を入力してください。
 ドメイン名全体を指定する場合はサブドメイン部分を省いて入力してください。
 例えば example.com ドメイン名全体を指定する場合は **example.com** と入力します。

入力した内容を有効にするには下にある**設定**ボタンをクリックしてください。

[設定項目]		
No.	設定値	備考
1	アクセス元のアドレスによるアクセス制御	FTP のアクセスを IP アドレスまたはドメインで制御する場合に選択します。 「制限のポリシー」を選択→指定する「IP アドレス」または「ドメイン名」を指定します。

2.4.6. AnonymousFTP の設定

匿名でファイルのダウンロードが行える「AnonymousFTP 機能」を利用できます。

デフォルトでは AnonymousFTP 機能は OFF(無効)に設定されていますので、 使用する場合は管理ツールの サイトマネージャーで ON に設定する必要があります。

①「WEB&FTP 管理」→「AnonymousFTP」→「AnonymousFTP ON-OFF」をクリックします。

②「ON」か「OFF」を選択し、「設定」をクリックします。

[仕様]	
No.	説明/備考
1	AnonymousFTP でダウンロード出来るファイルは、/anonymous ディレクトリに置かれているファイルです。
2	/anonymous ディレクトリへのファイルのアップロードは管理者だけが行えるようになっています。
3	/anonymous ディレクトリ内にサブディレクトリを作成し、その中にファイルを設置することも可能です。
4	AnonymousFTP のアカウント名は anonymous です。このアカウント名を使用してサーバに FTP 接続すると、/anonymous ディレクトリに置かれているファイルをダウンロードすることができます。
5	AnonymousFTP でファイルのアップロードや、削除・ファイル名の変更などを行うことはできません。

2.4.7. メーリングリスト管理

メーリングリストの登録方法について解説します。

- ①「メール管理」→「メールユーザ管理」→「メーリングリストの登録・変更」をクリックします。
- ②「メーリングリスト名」、各種ポリシーおよび初期メンバーを登録し「新規登録」をクリックします。

共有ホスティング サイトマネージャー
エネルギー・コミュニケーションズ

TOP > サイトマネージャー > メール管理 > メーリングリスト管理 > メーリングリストの登録・変更

すべて開く | すべて閉じる

- インフォメーション
- サイト管理
- WEB & FTP 管理
- メール管理
 - メールユーザ管理
 - メーリングリスト管理
 - メーリングリストの登録・変更
 - ウイルスチェック
 - 迷惑メールフィルタ管理
 - メール送信状況確認
- FTPソフト設定例
- メールソフト設定例
- オンラインマニュアル
- お問い合わせ

メーリングリストの登録・変更

メーリングリスト名	<input type="text" value="(メーリングリストのアカウント名)@(ドメイン名)"/> <small>使用できる文字は「a-z 0-9 . _ - = { } + #」です。 1~32文字以内で設定してください。</small>
メールによる入退会 (subscribe, unsubscribe)	<input type="radio"/> 可能にする(誰でもメンバーになることができます) <input checked="" type="radio"/> 不可能にする
投稿者の制限	<input type="radio"/> 制限しない(誰でも投稿できます) <input checked="" type="radio"/> メーリングリストのメンバーのみが投稿できるようにする <input type="radio"/> 内容をサイト管理者が判断して許可する(投稿要求自体は誰でも可能です)
件名(Subject)の変更	<input checked="" type="radio"/> 変更しない <input type="radio"/> [メーリングリスト名]を頭に付ける <input type="radio"/> [メーリングリスト名:通し番号]を頭に付ける
メーリングリストに 返信したときの宛先 (Reply-to:)	<input type="radio"/> 送信元に返信する <input checked="" type="radio"/> メーリングリストに返信する <input type="radio"/> サイト管理者に返信する <input type="radio"/> 特定の宛先に返信する <input type="text" value="(送信先のメールアドレス)"/>
配送時のエラーメール の宛先	<input checked="" type="radio"/> 破棄する <input type="radio"/> サイト管理者に送る
添付ファイルの設定	<input checked="" type="radio"/> 添付が付いていた場合でもそのまま配送する <input type="radio"/> 添付が付いていた場合は添付を外して本文のみを配送する
初期メンバー登録	<input type="text" value="(送信先のメールアドレス1)"/> <input type="text" value="(送信先のメールアドレス2)"/> <small>メーリングリストに登録するメールアドレスを、1行に1つずつ記入してください。</small>

[仕様]	
No.	説明/備考
1	メーリングリストのアドレスは、[メーリングリスト名]@[ドメイン]となります。
2	管理者(admin)や、作成されているメールユーザと同じ名前のメーリングリストは作成できません。
3	1 契約につき、50 個のメーリングリストを作成することができます。 また、1 つのメーリングリストにつき、200 個のメールアドレスをメンバーとして登録することができます。
4	メーリングリストに対して、別のメーリングリストからの投稿はできません。

Copyright(c) Energia Communications, Inc.

37

2.4.8. 独自 SSL

独自 SSL 機能について解説します。

本機能は、お客様が作成した CSR 鍵を使用して取得された SSL サーバ証明書（独自 SSL）をサーバに設定し、Web サイトとサイト来訪者の通信を暗号化することができます。

また、CSR の作成から SSL サーバ証明書の取得、サーバへの設定まで弊社がワンストップで行うサービスもご用意しております。詳細はサポート窓口にご確認ください。

独自 SSL ご利用までの大きな流れは以下となります。

① CSR の作成

共有ホスティング サイトマネージャー エナルギア・コミュニケーションズ

TOP > サイトマネージャー > Web&FTP管理 > 独自 SSL > CSR・秘密鍵の作成

CSR・秘密鍵の作成

SSLに対応したホームページを作成する場合、CSR(証明書署名要求)を作成し、認証局にご提出いただけます。

すべての項目は半角英数字で入力してください。
日本語や全角英数字は使用できません。

鍵長	2048ビット
コモンネーム (Common Name)	https:// (ドメイン名) / コモンネームとは、SSLで接続可能なホームページのURLの一部として使用される名前です。 WebブラウザでSSLのホームページにアクセスする時に、ドメイン名の前に www. を付ける場合は(例:https://www.example.com/)、コモンネームを www.example.com としたCSRを作成してください。 なお、ご申請のコモンネームにより、サーバー証明書の証明対象となるURLが異なります。 認証局によっては www. を先頭を含むコモンネームを指定すると、www. を含まないURL(例:https://example.com/)もサーバー証明書の証明対象にできる場合があります。 事前にSSL認証局へご確認の上、コモンネームを指定ください。
組織名 (Organization)	(組織名) 会社・学校・その他の団体など、任意の組織名を入力してください。
部門名 (Organization Unit)	SSLの証明書を使用する部署またはグループの名前を入力してください。 この項目は入力しなくても問題ございません。
国名 (Country)	JP 選択する国名はISOの国別記号で表示されています。 日本の国別記号は「JP」ですので通常は変更する必要はございません。
都道府県名 (State or Province)	(都道府県名) 東京都の場合は Tokyo、神奈川県の場合は Kanagawa のように、「都」や「県」を省いた都道府県名を半角英字で入力してください。 ただし、北海道は「道」を省かず Hokkaido と入力してください。
地域名 (Locality)	(地域名) 千代田区の場合は Chiyoda-ku、川崎市の場合は Kawasaki-shi のように、市区町村名を半角英字で入力してください。

<注意>
「作成」ボタンを押した後、ページの表示に時間がかかる可能性がございますが、ページを移動せずそのままお待ちください。

作成 リセット

- お客様の組織名、所在地、サーバの URL (コモンネーム) などを記入し、[作成ボタン] をクリックしてください。
- CSR は、ダウンロード時に指定したフォルダに保存されます。「メモ帳」などのテキスト・エディターで作成した CSR のファイルを開き、中身を確認してください。
- ここで作成した CSR (証明書署名要求) と受付番号の組み合わせは、SSL をサーバへ設定するとき必要となります。CSR ファイルは SSL の設定が完了するまで必ず大切に保管してください。

次のようなファイルが作成されます。

```
CSR (証明書署名要求) を受付番号 『XXXX』 にて、作成いたしました。
CSR に組み込まれている情報は以下の通りです。
コモンネーム：XXXXXXXXXX
団体名：XXXXXXXXXXXX
部署名：
国名：JP
都道府県名：XXXXX
市区町村名：XXXXXXXXXX
```

《注意事項》

```
※CSR を CA (認証局) へ送付する際は、
『 ——BEGIN CERTIFICATE REQUEST—— 』 ~ 『 ——END CERTIFICATE REQUEST—— 』
を含んだ内容を送付して下さい。
※CA にてデジタル署名を受けた公開鍵を弊社へ送る際は、受付番号 『XXXX』 を同時にお送り下さい。
※このファイルは、重要な情報を含んでおりますので大切に保管して下さい。
```

以下の内容で CSR 作成いたしました。

```
——BEGIN CERTIFICATE REQUEST——
MIIBxjCCAS8CAQAwYUxkZjBGNVBAZTAkQmQ4wDAYDVOQIEdVvc2FrYTEOMAwG
A1UEBjMFb3Nha2ExEDA0BgNVBAoTB3V0YW11cmExGzAZBgNVBAMTEmZ2LnZmMi5h
cmVlYS5uZS5qcDEnMCUGCSqGSIb3DQEJARYYYWRtaW5AZnYudmgyLmFyZW5hLm5l
LmpwMIgfMA0GCsqGSIb3DQEBAQUAA4GNADCBiQKgQC7m03pQif3o1TSotoaYCKc
6/dPwFSXiKMi4x3eyuB9UG0uWd2DtDniq10zFsy87yUqfpbjwN1CnpoJAAyfsP
zPVspeo1Qt187Fr4YgZzqexlsbmdPUBsZDxo/oN1d7AivXTLR1Uf30pWeHQkXxB
XRLDoIrimV4PMDqKaYn1LwIDAQABoAAwDQYJKoZIhvcNAQEEBQADgYEAdUsEhRwW
ck85uvZD09GVZ3gT+IpxTYdI0s3sunwutD8IAE81i5oidSVSWHmDm5Wdi0FAWXG5
Vljwv0foFga/KdpuaOVTdFYa4xg+tZ+UBIoShT0hh/409DXeq7yDps5JztSYc1R3
r7HTDP6KwCyIUuIiwrvSKAn7jLQLP0Gqv2I=
——END CERTIFICATE REQUEST——
```

③ SSL サーバ証明書の取得申請

お客様ご自身で、認証局へ SSL サーバ証明書の申請をしてください。
申請方法の詳細は、各認証局の Web サイトなどをご確認ください。

申請時には、作成した CSR の他にサーバの種類を合わせて申請する必要があります。次の情報を参考に申請してください。

- Apache (mod_ssl)
- Apache Freeware with SSLeay

④ 取得した証明書をサーバへ設定

共有ホスティング サイトマネージャー エネルギア・コミュニケーションズ

TOP > サイトマネージャー > Web&FTP管理 > 独自SSL > SSLサーバ証明書の設定

SSLサーバ証明書の設定

お客様にて取得されたSSL証明書を、サーバに設定します。
既にサーバへSSLが設定されている場合は証明書情報を上書きします。

以下の入力欄にそれぞれ証明書の内容を貼り付けてください。
証明書情報には「BEGIN CERTIFICATE」「END CERTIFICATE」の行も含めます。

入力例)
-----BEGIN CERTIFICATE-----
:
-----END CERTIFICATE-----

■SSL証明書:

※証明書は絶対に編集(加工)しないでください。
念の為、余分な空白(半角/全角スペース)や改行が含まれていないことをご確認ください。

■中間証明書:

※証明書は絶対に編集(加工)しないでください。
念の為、余分な空白(半角/全角スペース)や改行が含まれていないことをご確認ください。
※中間証明書が正しく設定されていないと、SSL接続の際に【セキュリティの警告】が表示されます。
中間証明書がない場合は、発行元認証局にご確認ください。
※複数ある場合は続けて貼り付けてください。

例)
-----BEGIN CERTIFICATE-----
:
-----END CERTIFICATE-----
-----BEGIN CERTIFICATE-----

受付番号の登録 (サイトマネージャーでCSRを作成した場合)
 秘密鍵を入力 (認証局において秘密鍵およびCSRを作成した場合等)

■受付番号:
認証局に申請する時に「CSR・秘密鍵作成」で作成、ダウンロードした「csr.txt」に記載されている受付番号 (14桁の数字) 入力してください。

設定 入力内容をリセット

SSL 証明書と中間証明書をコピー＆ペーストでそれぞれの欄に入力します。

秘密鍵の入力については基本的に「受付番号から秘密鍵を登録する」を選択し、[■ 受付番号] 欄に受付番号を入力するようにしてください。

【受付番号について】

受付番号は「CSR の作成」の段階で作成し、SSL サーバ証明書の申請時に利用した CSR のファイルから取得してください。

* SSL サーバ証明書の申請時に利用した CSR と、その CSR ファイルに記載されている受付番号の組み合わせが一致している必要があります。

* 受付番号 (CSR ファイル) を紛失された場合、お手数ではございますが今一度「CSR の作成」で新しい CSR と受付番号の組み合わせを取得し、新しい CSR で SSL サーバ証明書の「再発行」を行ってから証明書の設定に進んでください。

2.4.9. HTTPS ドキュメントルート統合

HTTPS ドキュメントルート統合機能について解説します。

本機能は、2019/08/29 以前にクイック SSL 認証をご契約のお客様のみが対象の機能となります。

2019/08/29 以前にクイック SSL 認証（設置のみも含む）をご契約されたお客様の場合、HTTPS の設置先が、「/ssl/home」となっております。

本機能を実行すると、ドキュメントルートを「/home」に統一し、HTTPS 専用ディレクトリ「/ssl」とその配下のディレクトリの利用を停止します。

これにより、http://と https://のどちらでアクセスした場合にも「/home」をドキュメントルートとする同一の Web サイトを表示することができます。

統合後は、「/ssl」配下にあったディレクトリは/data/ssl.YYYYMMDDhhmmss にリネームされて移動されます。一度変更すると元に戻すことはできません。

統合前後のディレクトリイメージ



2.4.8.1 事前作業

- HTTPS用のコンテンツがHTTPでも表示できるよう、「/ssl」配下のWebコンテンツを「/home」や「/cgi-bin」などのディレクトリにコピーしておきます。
- http://でアクセスされた際に、https://へリダイレクトさせる設定を削除します。
ホームディレクトリ→/SSLへリダイレクト設定している場合、ドキュメントルート統合後は/SSLディレクトリが削除されるためリダイレクトができず、ループが発生いたします。リダイレクト設定をしている場合は、統合前にリダイレクト設定解除が必要です。
- その他、「/ssl」のディレクトリを使用する設定となっている箇所があれば修正を行います。

2.4.8.2 サイトマネージャからディレクトリ統合を実施

①「WEB&FTP管理」→「HTTP/HTTPSのディレクトリ統合」をクリックします。

The screenshot shows the '共有ホスティング サイトマネージャー' (Shared Hosting Site Manager) interface. The left sidebar contains a menu with categories: 'インフォメーション', 'サイト管理', 'WEB & FTP 管理', 'メール管理', 'FTPソフト設定例', 'メールソフト設定例', 'オンラインマニュアル', and 'お問い合わせ'. Under 'WEB & FTP 管理', the option 'HTTP/HTTPSのディレクトリ統合' is highlighted with a red box. The main content area is titled 'インフォメーション' and displays the following text: 'サイトマネージャーへようこそ。', 'お客様のユーザー名は「admin」です。', '所属サーバーは **delatus.jp**。ご利用のIPアドレスは **203.138.53.150**です。', and '使用後は必ずすべてのブラウザを終了してください。' The top right corner features the 'エネギアコミュニケーションズ' logo.

- ②「上記注意事項に同意し、HTTP/HTTPSのディレクトリ統合を実行します」にチェックします。
- ③「統合する」をクリックします。

以上で統合作業は完了です。

2.5. アクセスログについて

2.5.1. アクセスログ

ホームページ関連のログとしては、Web のアクセスログと、エラーログを見ることができます。

Web アクセスログ・Web エラーログは、Apache が出力したテキスト形式の生ログです。

また、Web のアクセスログを集計して HTML 形式で統計情報を表示するログ解析も行えます。

複数のドメインを設定されている場合、子ドメインのアクセスログ/エラーログは生成されず、親ドメインのログファイルに記録されます。

アクセスログ解析も同様に、子ドメインのものについては親ドメインのアクセスログ解析の中に含まれます。

ログファイルはサーバの/log ディレクトリ内に保存されます。

/log ディレクトリ内はさらに/log/www と/log/ftp に分かれており、/log/www に Web のログ、

/log/ftp に FTP のログが保存されます。

生ログのログファイルは 1 日分ごとに 1 つのファイルにまとめられ、あらかじめ設定されている保存日数分がサーバに保存されます。

設定されている日数が経過したログファイルはサーバから自動的に削除され、参照することは出来なくなります。

ただし、ログ解析だけは保存日数の設定に関わらず過去 12 か月分のログが保存されます。

2.5.2. アクセスログの保存期間

生ログのログファイルは 1 日分ごとに 1 つのファイルにまとめられ、あらかじめ設定されている保存日数分がサーバに保存されます。

設定されている日数が経過したログファイルはサーバから自動的に削除され、参照することは出来なくなります。

ただし、ログ解析だけは保存日数の設定に関わらず過去 12 か月分のログが保存されます。

保存日数は 0 日～40 日の範囲で、任意に設定する事ができます。

①「WEB&FTP 管理」→「ログファイル」→「ログの保存日数」をクリックします。

②「保存日数」を選択し「設定」をクリックします。

共有ホスティング サイトマネージャー エネルギア・コミュニケーションズ

TOP > サイトマネージャー > Web&FTP管理 > ログファイル > ログ保存日数

ログ保存日数

現在ログファイルの保存日数は7日に設定されています。

保存日数を変更する場合は0～40の範囲で日数を選択して設定ボタンをクリックしてください。

保存日数 7 日

設定 リセット

2.5.3. 直近のアクセスログの参照

管理ツールでは、最新 10～500 件の生ログを参照することができます。

- ①「WEB & FTP 管理」→「ログファイル」→「最新ログ表示」をクリックします。
- ②「ログファイルの種類」「表示する行数」を選択し「表示」をクリックします。

共有ホスティング サイトマネージャー エネルギア・コミュニケーションズ

TOP > サイトマネージャー > Web&FTP管理 > ログファイル > 最新ログ表示

最新ログ表示

Webアクセスログ・Webエラーログ・FTPアクセスログの最新 10～500行を表示します。

ログファイルの種類	<input type="radio"/> Webアクセスログ <input type="radio"/> Webエラーログ <input type="radio"/> FTPアクセスログ
表示行数	10 行

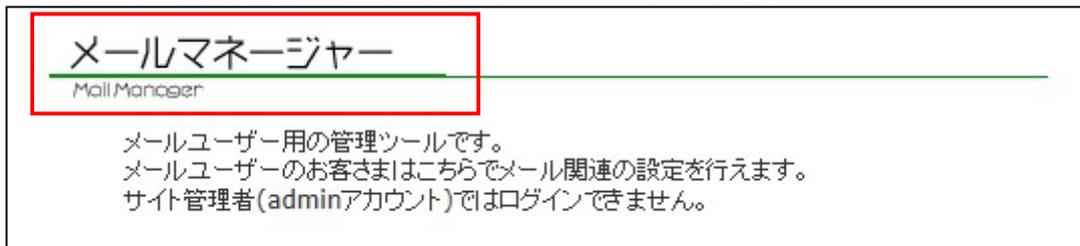
3. メールマネージャー

ここでは、メールユーザ向けの操作について解説いたします。
 メールマネージャーは「メールユーザ」のみ利用可能です。

①登録通知書に記載されている「管理画面 URL」にブラウザでアクセスします。



②メールユーザの権限で管理画面にログインする場合、「メールマネージャー」をクリックします。



③「手順 2.2 メールユーザ情報設定」で登録したメールユーザの「メールユーザID」「メールユーザパスワード」を入力し「OK」を押してください。



入力項目	備考
ユーザ名	メールユーザID
パスワード	メールユーザパスワード

④メールユーザが設定できる項目が左メニューに表示されます。

The screenshot shows the '共有ホスティング メールマネージャー' (Shared Hosting Mail Manager) interface. The left sidebar menu is highlighted with a red box, showing options like 'すべて開く', 'すべて閉じる', 'インフォメーション', 'メールアカウント管理', 'パスワード変更', 'ディスク容量確認', 'メール転送設定', 'メールの強制削除', 'サービス状態の確認', '経路情報の確認', 'メール自動返信設定', 'Webメールv3', 'メールソフト設定例', and 'オンラインマニュアル'. The main content area displays 'インフォメーション' (Information) with a welcome message and user details.

種別	項目	網掛けの意味
	Web メール v3	サードパーティー製のアプリケーションです。 ご利用の際は、オンラインマニュアルを参照し、 利用者様自身の責任においてご利用ください。

3.1. メールアカウント管理

3.1.1. パスワードの変更

- ①「メールアカウント管理」→「パスワードの変更」をクリックします。
- ②新しいパスワードを入力して「変更」をクリックします。

共有ホスティング メールマネージャー

エネルギア・コミュニケーションズ

TOP > メールマネージャー > メールアカウント管理 > パスワード変更

すべて開く | すべて閉じる

インフォメーション

メールアカウント管理

パスワード変更

ディスク容量確認

メール転送設定

メールの強制削除

メールの強制削除

サービス状態の確認

経路情報の確認

メール自動返信設定

Webメールv3

メールソフト設定例

オンラインマニュアル

パスワードの変更

パスワード

パスワード入力:

パスワード確認:

使用できる文字は「a-z A-Z 0-9 . _ = [] { } + # ^ ! ?」です。
「英字 + 数字」または「英字 + 記号」、8～32文字で設定してください。

3.1.2. ディスク容量確認

- ①「メールアカウント管理」→「ディスク容量確認」をクリックします。
- ②ディスクの空き容量、使用量が表示されます。

共有ホスティング メールマネージャー

エネルギア・コミュニケーションズ

TOP > メールマネージャー > メールアカウント管理 > ディスク容量確認

すべて開く | すべて閉じる

インフォメーション

メールアカウント管理

パスワード変更

ディスク容量確認

メール転送設定

メールの強制削除

メールの強制削除

サービス状態の確認

経路情報の確認

メール自動返信設定

Webメールv3

メールソフト設定例

オンラインマニュアル

ディスク容量確認

(メールユーザID) さんの現在の使用可能容量は 153(GB)です。

38(GB)	76(GB)	114(GB)	153(GB)
[Progress Bar]			

使用容量 ■ 空き容量 ■ 他のユーザーの使用容量

使用可能容量	使用容量	空き容量
157,200(MB)	352(MB)	156,848(MB)

3.1.3. メール転送設定

メール転送とは、受信したメールを自動で指定したメールアドレスへ送信する機能です。

- ①「メールアカウント管理」→「メール転送設定」をクリックします。
- ②転送先のメールアドレスを登録して、「転送設定を行う」をクリックします。

The screenshot shows the '共有ホスティング メールマネージャー' (Shared Hosting Mail Manager) interface. The page title is 'メールの転送設定' (Mail Forwarding Settings). The breadcrumb trail is 'TOP > メールマネージャー > メールアカウント管理 > メール転送設定'. The left sidebar contains a menu with 'メールアカウント管理' (Mail Account Management) highlighted. The main content area has a heading 'メールの転送設定' and a sub-heading 'メールユーザー (メールユーザID) のメールの転送設定を行います。' (Set up mail forwarding for the mail user (mail user ID)). Below this is a table with 10 rows for forwarding destinations. The first three rows have pre-filled text '(転送先メールアドレス1)', '(転送先メールアドレス2)', and '(転送先メールアドレス3)'. Below the table is a checkbox labeled 'メールを転送した後 (メールユーザID) のメールアドレスにもメールを残す。' (After forwarding mail, also keep mail in the email address of (mail user ID)). At the bottom, there are two buttons: '転送設定を行う' (Set up forwarding) and '変更を行わない' (Do not change).

転送先	メールアドレス
転送先1	(転送先メールアドレス1)
転送先2	(転送先メールアドレス2)
転送先3	(転送先メールアドレス3)
転送先4	
転送先5	
転送先6	
転送先7	
転送先8	
転送先9	
転送先10	

メールを転送した後 (メールユーザID) のメールアドレスにもメールを残す。

[転送設定を行う](#) [変更を行わない](#)

3.1.4. メール自動返信

自動返信とは、メールを受信した際に、あらかじめ作成した返信用のメールを送信者に自動で返信する機能です。

- ①「メールアカウント管理」→「メール自動返信設定」をクリックします。
- ②「自動返信」「送信間隔」「件名」「本文」を入力して、「設定」をクリックします。

共有ホスティング メールマネージャー エネルギア・コミュニケーションズ

TOP > メールマネージャー > メールアカウント管理 > メール自動返信設定

すべて開く | すべて閉じる

インフォメーション

メールアカウント管理

パスワード変更
ディスク容量確認
メール転送設定
メールの強制削除
サービス状態の確認
経路情報の確認
メール自動返信設定
Webメールv3

メールソフト設定例

オンラインマニュアル

メールの自動返信設定

現在自動返信は**OFF**に設定されています。

自動返信設定

自動返信をONに設定する。
 自動返信をOFFに設定する。

送信間隔

同じ宛先への送信間隔
23 時間 50 分

件名

【Re: (届いたメールの件名)】にする。
 任意の件名を設定する。
(任意の件名)

本文

※このメールはサーバーから自動的に返信されたメールです。
ただいまメールを見ることができません。
お急ぎの場合は電話など別の方法でご連絡ください。
(自動返信メールの本文)

文章の長さは最大で4KB(半角4096文字、全角2048文字)まで登録できます。
機種依存文字は文字化けすることがございますのでご注意ください。

設定 リセット

[設定項目]		
No.	設定値	備考
1	自動返信機能の ON/OFF	メール自動返信機能を使用するかどうかを設定します。
2	送信間隔の設定	同じ宛先に何度も自動返信メールを送る場合、設定した時間が経過するまで次の自動返信メールを送りません。 10分～23時間50分の範囲でお好みの送信間隔を選択して下さい。
3	件名の変更	自動返信メールの件名を 【【Re: (届いたメールの件名)】にする。】 【任意の内容を設定する。】 の2タイプから選択できます。 任意の内容を設定する場合は、お客さまにて設定する件名を入力して下さい。
4	本文の入力	自動返信メールの本文を入力して下さい。 文章の長さは最大で4KB(半角4096文字、全角2048文字)まで登録できます。

4. Web メール

4.1. Web メールとは

Web メールをご利用いただくことで、本サービスのメールアドレスを用いて、ブラウザ上からメールの送受信を行います。そのためインターネットへの接続環境がある場所ならば、どこからでもメールの送受信が利用可能です。また、携帯電話・スマートフォン・タブレット PC からメールの送受信を行うことができます。

※ブラウザの Cookie の設定が、「Cookie を無効にする」設定になっている場合、本製品は正常に動作いたしません。

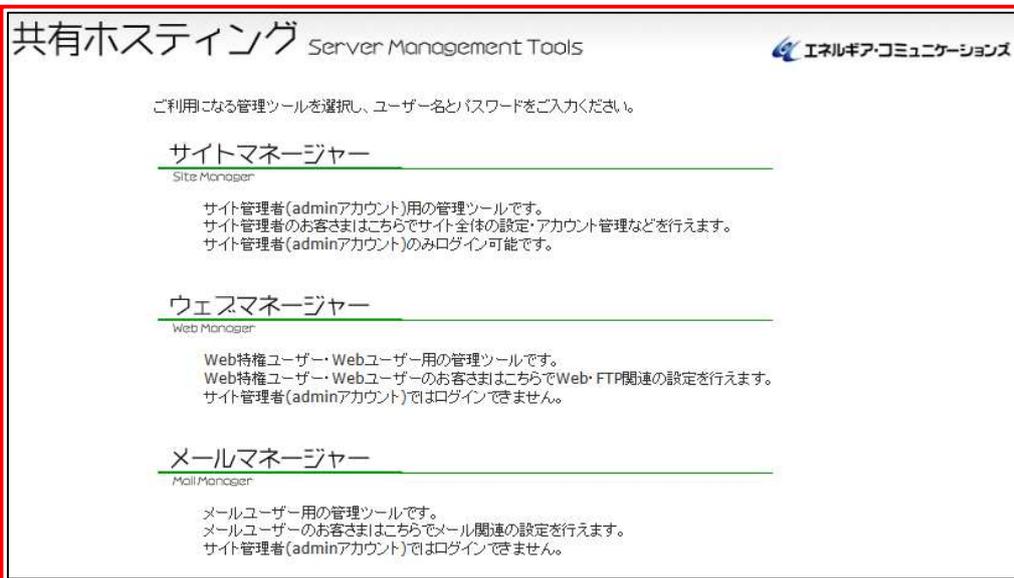
「すべて受け入れる」または「受け入れる前に警告(ダイアログ)を表示する」の設定になっていることをご確認ください。

※ブラウザの javascript 機能を有効にしなければ正しく動作しません。

4.2. Webメールのインストール

サイトマネージャーで Web メールをインストールします。

- ①登録通知書に記載されている「管理画面 URL」にブラウザでアクセスし、管理画面が表示される事確認します。



②管理者権限で管理画面にログインする場合、「サイトマネージャー」をクリックします。

サイトマネージャー

Site Manager

サイト管理者(adminアカウント)用の管理ツールです。
 サイト管理者のお客さまはここでサイト全体の設定・アカウント管理などを行えます。
 サイト管理者(adminアカウント)のみログイン可能です。

③登録通知書に記載されている「管理用 I D」「管理用パスワード」を入力し「OK」を押してください。



入力項目	備考
ユーザ名	管理用 ID
パスワード	管理用パスワード

④管理者が設定できる項目が左メニューに表示されます。

共有ホスティング

サイトマネージャー

TOP > サイトマネージャー > インフォメーション

すべて開く
すべて閉じる

インフォメーション

サイト管理

- トドメイン
- トディスク容量
- トadminアカウント管理
- トサーバ情報

WEB & FTP 管理

- トWebユーザ管理
- トアクセス制御
- トCGI管理
- トログファイル
- ト独自SSL
- トAnonymousFTP
- トWebメール管理
- トMySQL管理

メール管理

- トメールユーザ管理
- トメールリスト管理
- トウイルスチェック
- ト迷惑メールフィルタ管理
- トメール送信状況確認

FTPソフト設定例

メールソフト設定例

オンラインマニュアル

お問い合わせ

インフォメーション

サイトマネージャーへようこそ。
 お客さまのユーザー名は「(管理用ID)」です。

所属サーバーは (所属サーバ名)、ご利用のIPアドレスは (IPアドレス) です。
 使用後は必ずすべてのブラウザを終了してください。

Copyright(c) EnergiA Communications,Inc.

52

⑤「WEB&FTP 管理」→「Web メール管理」→「Web メール v3 インストール」をクリックします。

⑥「インストール」をクリックすると Web メールがインストールされます。

共有ホスティング サイトマネージャー エネルギア・コミュニケーションズ

TOP > サイトマネージャー > Web&FTP管理 > Webメール管理 > Webメール v3 インストール

すべて開く | すべて閉じる

インフォメーション

サイト管理

ドメイン
ディスク容量
adminアカウント管理
サーバー情報

WEB & FTP 管理

Webユーザ管理
アクセス制御
CGI管理
ログファイル
独自SSL
AnonymousFTP
Webメール管理
Webメール v3
Webメール v3 インストール
Webメール v3 アンインストール
MySQL管理

メール管理

メールユーザ管理
メールユーザの登録・変更
メールユーザの転送設定
メールユーザ一括登録
メールユーザバックアップ
メールユーザの自動返信設定
メールリクエスト管理
ウイルスチェック
迷惑メールフィルタ管理

FTPソフト設定例

メールソフト設定例

オンラインマニュアル

お問い合わせ

Webメール v3 インストール

Webメール v3を新規にインストールします。

Webメール v3のファイルはサイト管理者(admin)のWeb用ディスク領域を使用しますので、インストールの前にWebの空き容量とadminのWeb使用可能量に十分な空きがあることを確認して下さい。

バージョン: Denbun IMAP V3.3IR2.1A(必要ディスク容量 約100MByte)

インストールには数十秒程度の時間がかかる場合がございます。
インストールボタンは1回だけクリックし、完了画面が表示されるまでしばらくお待ち下さい。

インストール

⑦インストールが成功すると、以下の画面(インストール成功)が表示されます。

共有ホスティング サイトマネージャー エネルギア・コミュニケーションズ

TOP > サイトマネージャー > Web&FTP管理 > Webメール管理 > Webメール v3 インストール

Webメール v3 インストール

V3.31R2.1Aのインストールが成功しました。

- すべて開く | すべて閉じる
- インフォメーション
- サイト管理
 - ドメイン
 - ディスク容量
 - adminアカウント管理
 - サーバー情報
- WEB & FTP 管理
 - Webユーザ管理
 - アクセス制御
 - CG管理
 - ログファイル
 - 独自SSL
 - AnonymousFTP
 - Webメール管理
 - Webメール v3
 - Webメール v3 インストール
 - Webメール v3 アンインストール
 - MySQL管理
- メール管理
 - メールユーザ管理
 - メール링ダリスト管理
 - ウイルスチェック
 - 迷惑メールフィルタ管理
- FTPソフト設定例
- メールソフト設定例
- オンラインマニュアル
- お問い合わせ

4.3. Webメールのログイン・設定

Webメール(Denbun)画面を表示するには、以下のURL にアクセスします。

対応端末	URL
パソコン	http://www.ドメイン名/WEBMAIL/dnwml3/dnwmljs.cgi
スマートフォン	
携帯電話	http://www.ドメイン名/WEBMAIL/dnmwml3/dnmwml.cgi

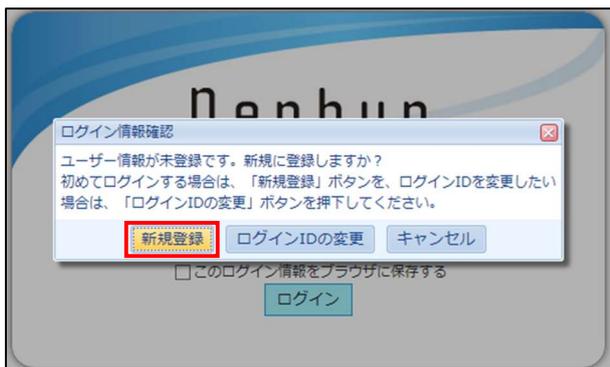


①ログイン ID・パスワードは、ユーザの「メールユーザID」「メールユーザパスワード」を入力し、「ログイン」をクリックします。



入力項目	備考
ユーザ名	メールユーザID
パスワード	メールユーザパスワード

②以下の画面が表示された場合は、「新規登録」をクリックします。



- ③ログインに成功すると、以下の画面(個人情報設定)が表示されます。
- ④「メールアドレス」に、必ずご自身のメールアドレスを入力してください。
- ⑤「OK」をクリックします。
- ⑥「メール」をクリックすると、Webメールの画面が表示されます。

設定一覧

- 基本設定
 - 表示設定
 - 個人情報設定
 - ゴミ箱設定
 - カラー設定
- メール設定
 - 開封確認設定
 - 署名設定
- フィルタ設定
 - フィルタ設定
 - 迷惑メール設定
- アドレス帳設定
 - 表示設定
 - 個人アドレスの一括削除
 - インポート
 - エクスポート

管理者設定...

個人情報設定

氏名

メールアドレス (Webメール使用者のメールアドレス) ×

※送信するメールの送信元(From)に設定されますので、ドメイン名を追記して正しく記述してください。(例: yamada@mydomain.com)

SMTP認証の設定 (※省略した場合は、受信メールサーバのユーザIDとパスワードで認証します。)

ユーザID :

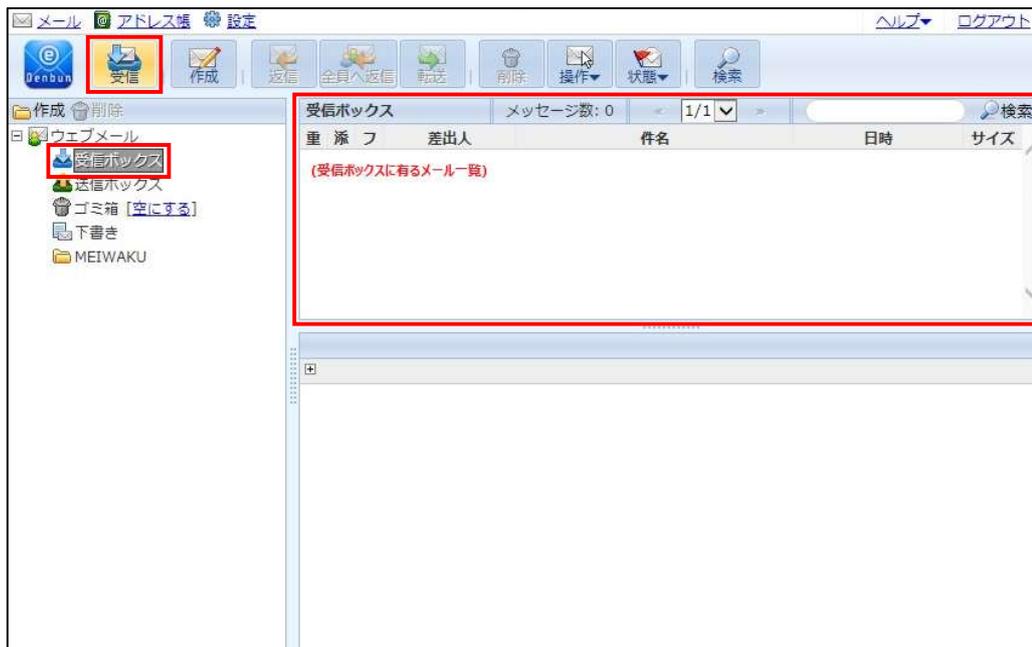
パスワード :

パスワード(確認) :

OK キャンセル

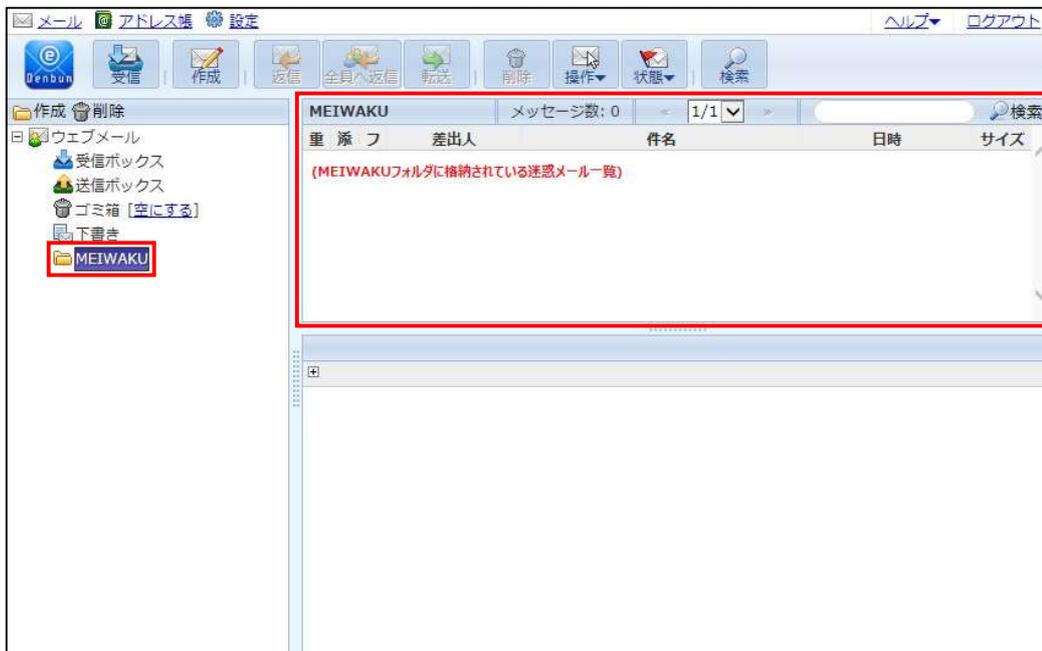
4.4. メール受信

「受信」をクリックすると、最新の受信ボックスの状態が表示されます。



※「受信」をクリックすることで、クライアント側(お手元のパソコン等)にメールが取り込まれることはありません。

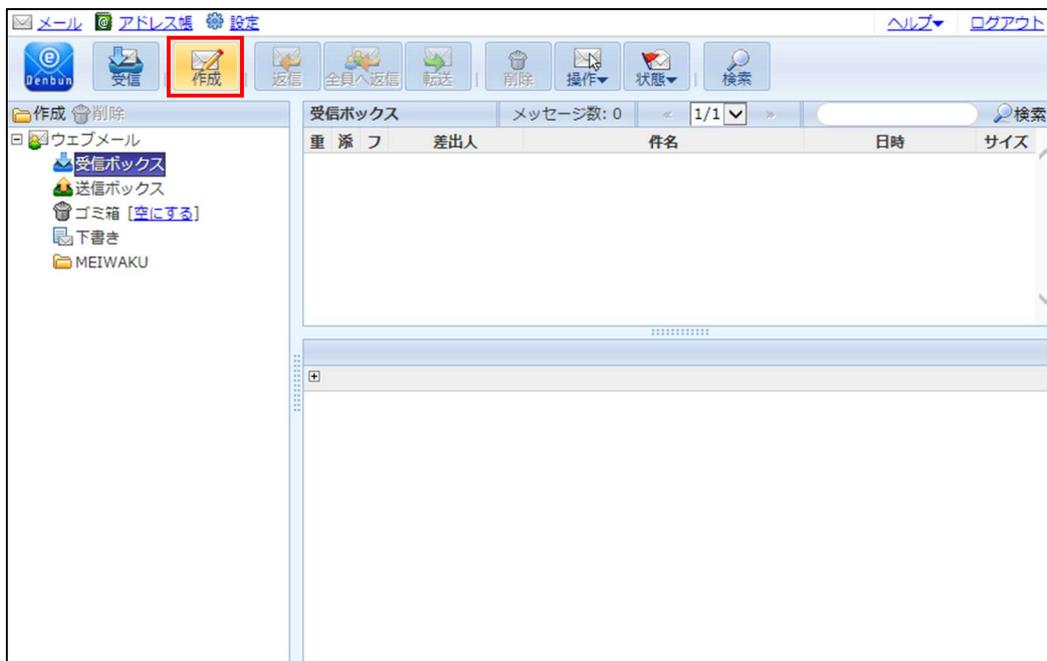
迷惑メールと判断されたメールは「MEIWAKU」フォルダに格納されています。



※サイトマネージャーの設定により、迷惑メール設定が「OFF」または「隔離しない」になっている場合は、「MEIWAKU」フォルダにメールは入りません。

4.5. メール送信

①「作成」をクリックします。



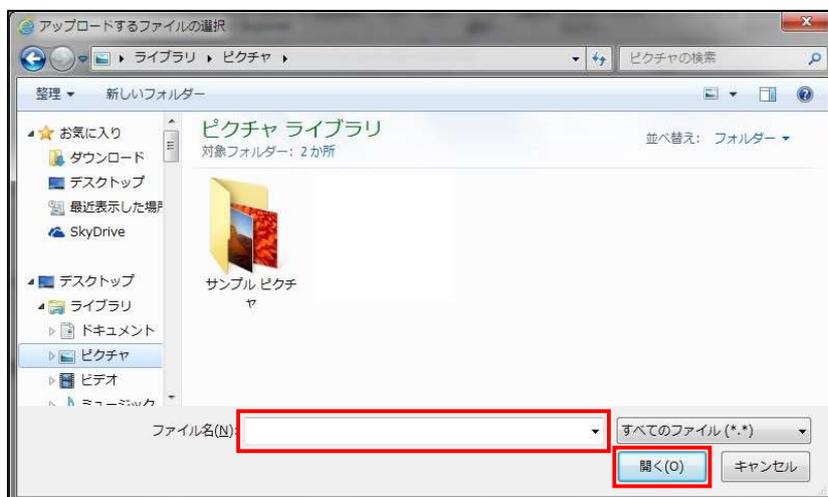
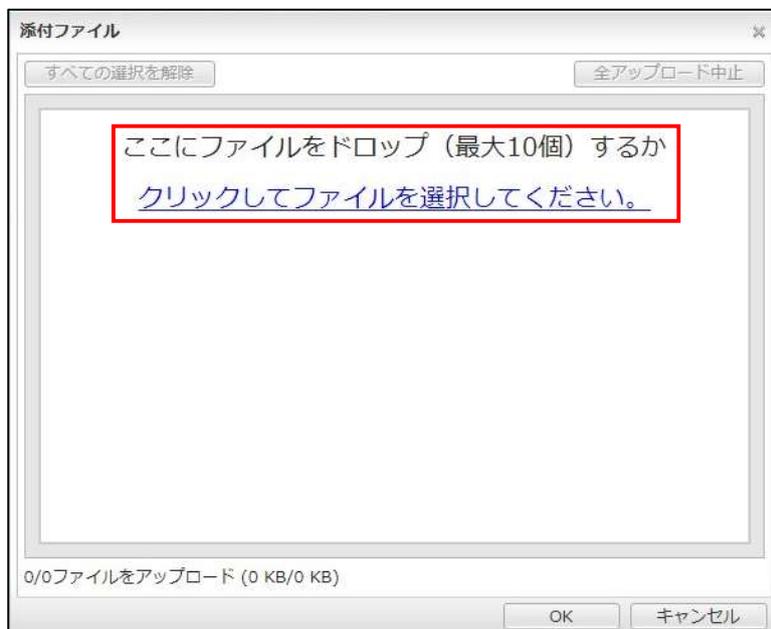
②「宛先」「件名」「本文」を入力します。

The screenshot shows the 'メール作成' (Compose) form. At the top, there are buttons for '送信' (Send), '一時保存' (Save Draft), '印刷' (Print), '重要度' (Priority), '開封確認' (Delivery Confirmation), and '言語...' (Language...). The form fields are as follows:

- '差出人: "" <(使用者メールアドレス)>' (Sender: "" <(User Email Address)>)
- '宛先: (宛先メールアドレス)' (To: (Recipient Email Address)) - This field is highlighted with a red box.
- 'CCを追加 BCCを追加' (Add CC Add BCC)
- '件名: (メールの件名)' (Subject: (Email Subject)) - This field is highlighted with a red box.
- 'HTML形式に切り替え 署名: 署名しない' (Switch to HTML format Signature: No signature) - This section is highlighted with a red box.
- '(メールの本文)' (Email Body) - This large text area is highlighted with a red box.
- '添付ファイル: 選択' (Attachments: Select)

③添付ファイルを送付することができます。左下にある「選択」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

添付したいファイルを以下の画面へドロップするか、エクスプローラーからファイルを選択する場合は「クリックしてファイルを選択してください」をクリックして添付します。



※1 通の容量がエンコード後に 20MB を超えるメールは配送できません。

※圧縮前のデータサイズが 100MB 以上の添付ファイルは、圧縮後のデータサイズがエンコード後 20MB 以下であっても送信できません。サイズの大きなメールを送受信する場合は、分割送信機能のあるメールクライアントで 1 通あたりの容量が少なくなるように分割して送受信してください。

④「送信」をクリックすると、作成したメールが送信されます。

The screenshot shows an email composition interface. At the top, there is a toolbar with several icons: a blue 'e' logo, an envelope icon labeled '送信' (Send) which is highlighted with a red box, a document icon labeled '一時保存' (Save Draft), a printer icon labeled '印刷' (Print), a red exclamation mark icon labeled '重要度' (Priority), a speech bubble icon labeled '開封確認' (Open Confirmation), and a flag icon labeled '言語...' (Language...). Below the toolbar is the 'メール作成' (Compose) section. It includes fields for '差出人' (From) with a placeholder '<><(使用者メールアドレス)>', '宛先' (To) with a placeholder '(宛先メールアドレス)', and '件名' (Subject) with a placeholder '(メールの件名)'. There are also links for 'CCを追加' and 'BCCを追加'. A 'HTML形式に切り替え' (Switch to HTML format) link and a '署名' (Signature) dropdown menu are also present. The main body of the email is a large empty text area labeled '(メールの本文)'. At the bottom, there is a '添付ファイル' (Attachments) section with a '選択' (Select) button and a placeholder '(メールの添付ファイル名)'. The 'Benbun' logo is visible in the top left corner.

5. MySQL

5.1. MySQLとは

MySQL をご利用いただくことで、本サービスよりデータベースを管理する事が可能になります。

[注意事項]	
No.	説明/備考
パスワードについて	
1	MySQL の初期パスワードは、サイト管理者(admin アカウント)のパスワードと同一です。
2	MySQL パスワードの変更は、データベース管理ツール/phpMyAdmin)より行ってください。
3	MySQL パスワードを忘れてしまった場合は、「MySQL パスワード初期化」から初期化してください。
4	データベースがすべて OFF の状態から ON に設定した場合、パスワードはサイト管理者(admin アカウント)と同一のパスワードに初期化されます。
データベースについて	
1	データベースの容量が超過すると、データの追加や変更が行えなくなります。定期的に使用容量のご確認および不要データの削除をお願いします。
2	データベースの初期化は、該当のデータベースが OFF になっている場合のみ実行可能です。
3	データベース名およびデータベースのユーザー名の変更はできません。
4	データベースおよび phpMyAdmin の具体的な使用方法は、サポート対象外となります。
5	この画面の「使用容量」表示は 1(MB)単位で表示されるため、実際の使用容量とは若干異なります。

5.2. MySQLの有効化

サイトマネージャーでMySQLを有効化します。

- ①「WEB&FTP 管理」→「MySQL 管理」→「MySQL の ON-OFF」をクリックします。

共有ホスティング サイトマネージャー エネルギア・コミュニケーションズ

TOP > サイトマネージャー > Web&FTP管理 > MySQL管理 > MySQLのON-OFF

MySQLのON-OFF

現在、すべてのデータベースがOFFに設定されています。

[【phpMyAdminを開く】](#)

データベース管理ツール

ユーザー名はデータベースのユーザー名を、パスワードはサイト管理者(adminアカウント)のパスワード(※パスワード変更している場合は変更後のパスワードを入力してください)。

データベース1

データベース名 (データベース名1)

ユーザー名 (データベース名1のユーザー名)

パスワード ※パスワードについての詳細は、このページ最下部の注意事項をお読みください。

初期化 このデータベースのデータを完全に消去する [実行](#)

ON/OFF ONにする OFFにする [設定](#)

データベース2

データベース名 (データベース名2)

ユーザー名 (データベース名2のユーザー名)

パスワード ※パスワードについての詳細は、このページ最下部の注意事項をお読みください。

初期化 このデータベースのデータを完全に消去する [実行](#)

ON/OFF ONにする OFFにする [設定](#)

データベース3

データベース名 (データベース名3)

ユーザー名 (データベース名3のユーザー名)

パスワード ※パスワードについての詳細は、このページ最下部の注意事項をお読みください。

初期化 このデータベースのデータを完全に消去する [実行](#)

ON/OFF ONにする OFFにする [設定](#)

- ②使用したい対象のデータベースの「ON/OFF」を「ONにする」を選択し、「設定」をクリック後、「使用容量」が表示される事を確認します。

データベース1

データベース名 (データベース名1)

ユーザー名 (データベース名1のユーザー名)

パスワード ※パスワードについての詳細は、このページ最下部の注意事項をお読みください。

初期化 このデータベースのデータを完全に消去する [実行](#)

ON/OFF ONにする OFFにする [設定](#)

データベース1

データベース名 (データベース名1)

ユーザー名 (データベース名1のユーザー名)

パスワード ※パスワードについての詳細は、このページ最下部の注意事項をお読みください。

使用容量(MB) 0 (MB)

ON/OFF ONにする OFFにする [設定](#)

5.3. MySQL の管理

サイトマネージャーで MySQL の管理をします。

- ①「WEB&FTP 管理」→「MySQL 管理」→「MySQL の ON-OFF」をクリックし、「データベース管理ツール」の「phpMyAdmin を開く」をクリックします。

共有ホスティング サイトマネージャー エネルギア・コミュニケーションズ

TOP > サイトマネージャー > Web&FTP管理 > MySQL管理 > MySQLのON-OFF

MySQLのON-OFF

現在、1個のデータベースがONに設定されています。

データベース管理ツール **[phpMyAdminを開く]**

ユーザー名はデータベースのユーザー名を、パスワードはサイト管理者(adminアカウント)のパスワード(※パスワード変更している場合は変更後のパスワード)を入力してください。

データベース1	
データベース名	(データベース名1)
ユーザー名	(データベース名1のユーザー名)
パスワード	※パスワードについての詳細は、このページ最下部の注意事項をお読みください。
使用容量(MB)	0 (MB)
ON/OFF	<input checked="" type="radio"/> ONにする <input type="radio"/> OFFにする <input type="button" value="設定"/>

- ②「phpMyAdmin」画面でユーザ名・パスワードは、ユーザの「データベース名 xx のユーザ名」「管理用パスワード」を入力し、「実行する」をクリックします。

phpMyAdmin

phpMyAdmin へようこそ

言語 - Language
日本語 - Japanese

ログイン

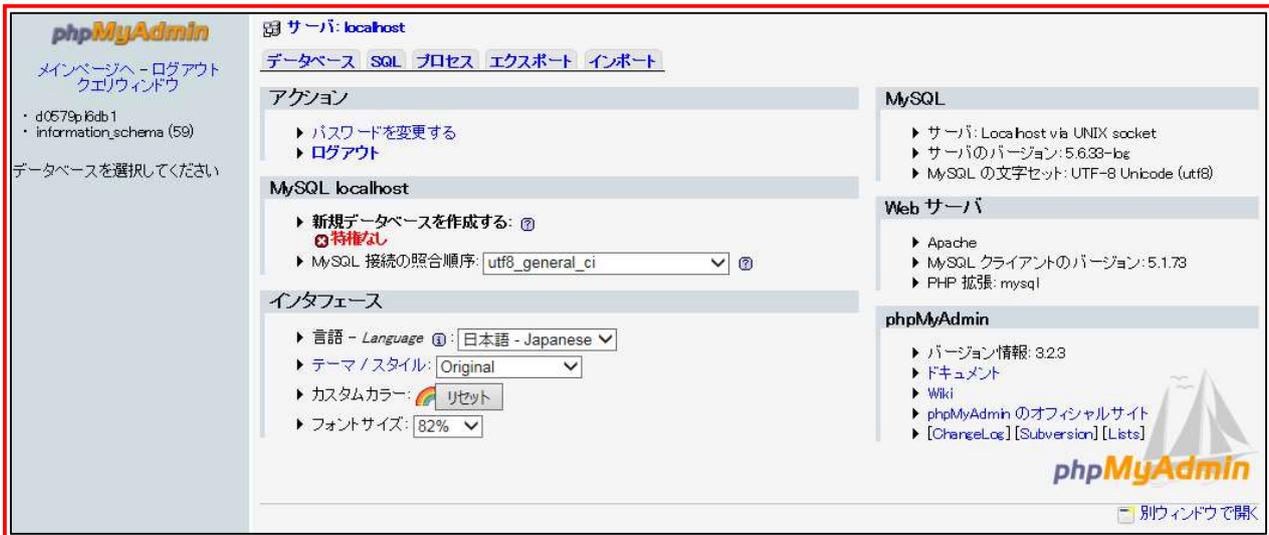
サーバ localhost

ユーザ名: (データベース名xxのユーザー名)

パスワード: (管理用パスワード)

入力項目	備考
ユーザ名	データベース名 xx のユーザー名
パスワード	管理用パスワード

③「phpMyAdmin」のメイン画面が表示されます。



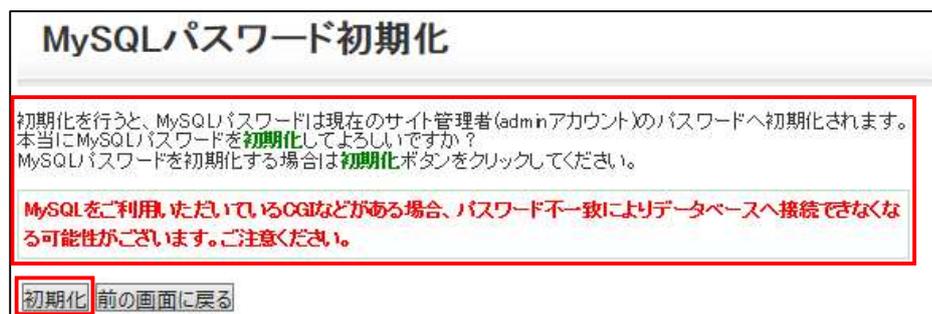
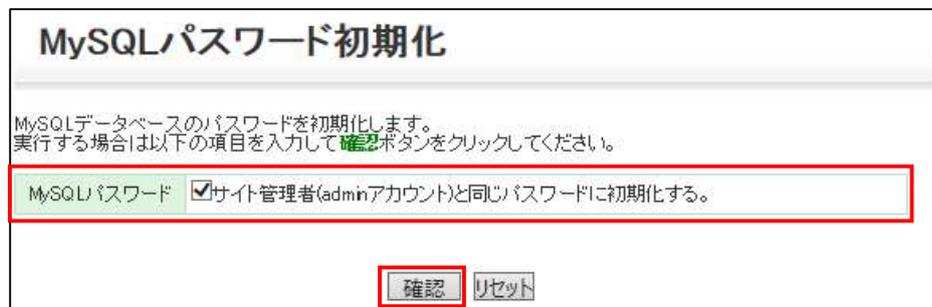
5.4. MySQL パスワードの初期化

サイトマネージャーで MySQL のパスワードの初期化をします。

- ①「WEB&FTP 管理」→「MySQL 管理」→「MySQL のパスワード初期化」をクリックします。



- ②「サイト管理者(admin アカウント)と同じパスワードに初期化する。」をチェックし、「確認」をクリックし、初期化確認画面が表示されますので「初期化」をクリック後、初期化完了画面が表示されます。



6. バックアップマネージャーの設定

6.1. バックアップマネージャーのログイン

①バックアップマネージャー「<https://backup.etius.jp/ENECOM/login>」にアクセスします。

②「アカウント名」「パスワード」を入力し「ログイン」をクリックします。

※「アカウント名」「パスワード」は、「バックアップオプション登録通知書」に記載されている「ID・パスワード」を入力します。

共有ホスティング バックアップマネージャー

エネルギーコミュニケーションズ

アカウント名

パスワード

ログイン

パスワードを忘れたお客さまは[こちら](#)

6.2. スケジュール設定

- ①「バックアップメニュー」-「スケジュール設定」画面では、どのタイミングでバックアップを行うかの設定を行います。
「編集」をクリックします。

The screenshot shows a web interface for backup management. On the left is a navigation menu with items like 'Backup Menu', 'Schedule Settings', 'Backup Data Management', 'Account Management', 'FTP Account Settings', 'Backup Manager Account Settings', 'Support', 'Contract Information', 'FAQ', and 'Online Manual'. The main content area is titled 'スケジュール設定' (Schedule Settings) and contains a table for 'データバックアップ' (Data Backup). The table has columns for 'データバックアップ' (Data Backup), 'スケジュール' (Schedule), and '操作' (Action). The first row shows 'データバックアップ 1世代((IPアドレス))' with a schedule of '毎月 上旬 (毎月6日)' and an '編集' (Edit) button highlighted with a red box.

データバックアップ	スケジュール	操作
データバックアップ 1世代((IPアドレス))	毎月 上旬 (毎月6日)	編集

- ②バックアップを行うスケジュールを選択し「設定」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'スケジュール設定' (Schedule Settings) form. It includes a title 'スケジュール設定', a subtitle 'バックアップのスケジュールを設定します。' (Set the backup schedule.), and a label 'データバックアップ 1世代((IPアドレス))'. Below this is a table for 'スケジュール' (Schedule) with three rows: '毎日' (Daily), '毎週' (Weekly), and '毎月' (Monthly). The '毎月' row is selected with a radio button. The '毎週' row has radio buttons for days of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土, 日). The '毎月' row has radio buttons for '上旬 (毎月7日)', '中旬 (毎月12日)', and '下旬 (毎月26日)'. A '設定' (Settings) button is located at the bottom of the form, highlighted with a red box.

スケジュール	
<input type="radio"/> 毎日	
<input type="radio"/> 毎週	<input type="radio"/> 月 <input checked="" type="radio"/> 火 <input type="radio"/> 水 <input type="radio"/> 木 <input type="radio"/> 金 <input type="radio"/> 土 <input type="radio"/> 日
<input checked="" type="radio"/> 毎月	<input checked="" type="radio"/> 上旬 (毎月7日) <input type="radio"/> 中旬 (毎月12日) <input type="radio"/> 下旬 (毎月26日)

6.3. バックアップデータ管理

バックアップの設定が表示されます。

バックアップの設定を保護する場合：対象のバックアップデータの「保護」をクリックします。

バックアップの設定を削除する場合：対象のバックアップデータの「削除」をクリックします。

※バックアップが保護された状態の場合、削除はできません。

共有ホスティング
バックアップスマネージャー

バックアップメニュー

スケジュール設定

バックアップデータ管理

アカウント管理

FTPアカウント設定

バックアップマネージャーアカウント設定

サポート

契約情報

ログアウト

バックアップデータ管理

データバックアップ1世代((IPアドレス))

ディレクトリー名	保護中	保護	削除
2019-01-07_UNLOCKED_STANDARD		保護	削除

ディレクトリー名 YYYY-MM-DD_[LOCK]_[TYPE]
YYYY-MM-DD バックアップ取得年月日
[LOCK] LOCKED = 保護設定中
UNLOCKED = 保護設定解除中
[TYPE] STANDARD = データバックアップ

6.4. FTP アカウント設定

バックアップファイルが存在するサーバに FTP 接続するためのアカウント名・パスワードを設定します。

①「アカウント管理」→「FTP アカウント設定」→「編集」をクリックします。

共有ホスティング バックアップスマネージャー	ログアウト
バックアップメニュー	FTPアカウント設定
スケジュール設定	バックアップデータ保存先FTPサーバーにログインするアカウントの設定をします。
バックアップデータ管理	
アカウント管理	
FTPアカウント設定	
バックアップスマネージャーアカウント設定	
サポート	
契約情報	

アカウント名	FTPアカウントを設定してください。
パスワード	
ステータス	無効

編集

②「アカウント名」と「パスワード」を入力します。

ステータスの「有効にする」にチェックを入れ、よろしければ「設定」をクリックします。

アカウント名	(入力した文字列) @ (所属サーバ名) 使用できる文字は「a-z 0-9 . _ - = { } + # 」です。 1~32文字で設定してください。
新しいパスワード	(新しいパスワード) 使用できる文字は「a-z A-Z 0-9 . _ - = [] { } + # ^ ! ? 」です。 8~32文字で設定してください。 「英字+数字」または「英字+記号」を使用する必要があります。
新しいパスワード(確認用)	(新しいパスワード) もう一度新しいパスワードを入力してください。
ステータス	<input type="checkbox"/> 有効にする

設定

※アカウント名は「入力した文字列@表示されている IP アドレス」になります。

6.5. バックアップマネージャーアカウント設定

FTP アカウントのパスワードを変更することができます。

- ①「アカウント管理」→「バックアップマネージャーアカウント設定」を選択します。
- ②「新しいパスワード」と「新しいパスワード(確認用)」に同一のパスワードを入力し、「設定」をクリックします。

共有ホスティング
バックアップマネージャー [ログアウト](#)

バックアップメニュー

スケジュール設定

バックアップデータ管理

アカウント管理

FTPアカウント設定

バックアップマネージャーアカウント設定

サポート

契約情報

バックアップマネージャーアカウント設定

バックアップマネージャーのパスワードを変更します。

アカウント名	(入力した文字列@表示されているIPアドレス)
新しいパスワード	<input type="password" value="(新しいパスワード)"/> 使用できる文字は「a-z A-Z 0-9 . _ - = [] { } + # ^ ! ?」です。 8~32文字で設定してください。 「英字+数字」または「英字+記号」を使用する必要があります。
新しいパスワード(確認用)	<input type="password" value="(新しいパスワード)"/> もう一度新しいパスワードを入力してください。

設定

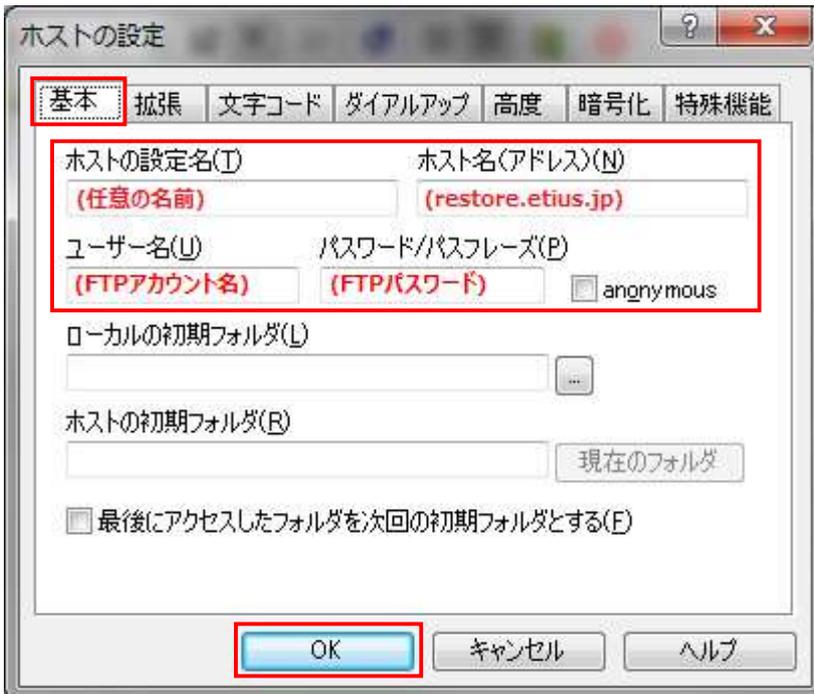
6.6. FTP 接続・ダウンロード

FTPソフトを利用してバックアップファイルを取得します。ここでは FFFTP を使用しています。

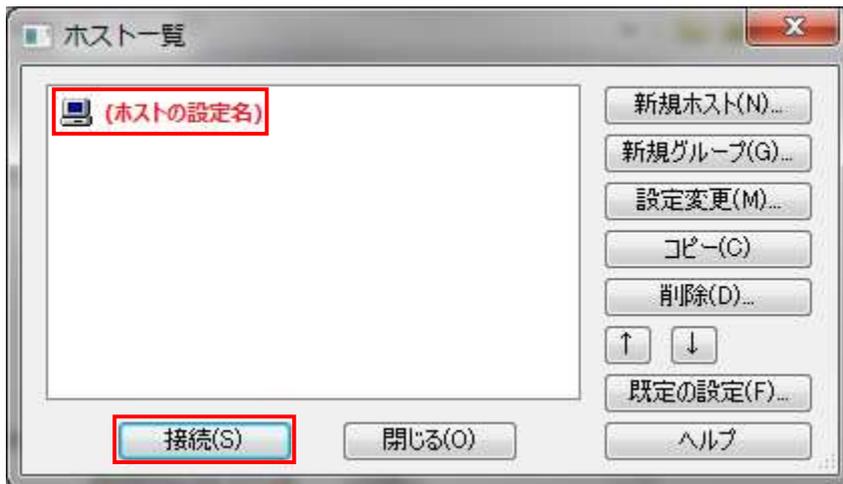
- ① FFFTP を起動し、「新規ホスト」をクリックします。



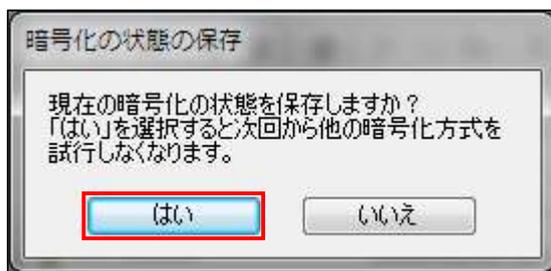
- ② 「基本」タブの「ホストの設定名」には「任意の名前」、「ホスト名(アドレス)」には「restore.etius.jp」と入力します。
「ユーザー名」は「FTP アカウント名」、「パスワード/パスフレーズ」は「FTP パスワード」を入力し、
よろしければ「OK」をクリックします。



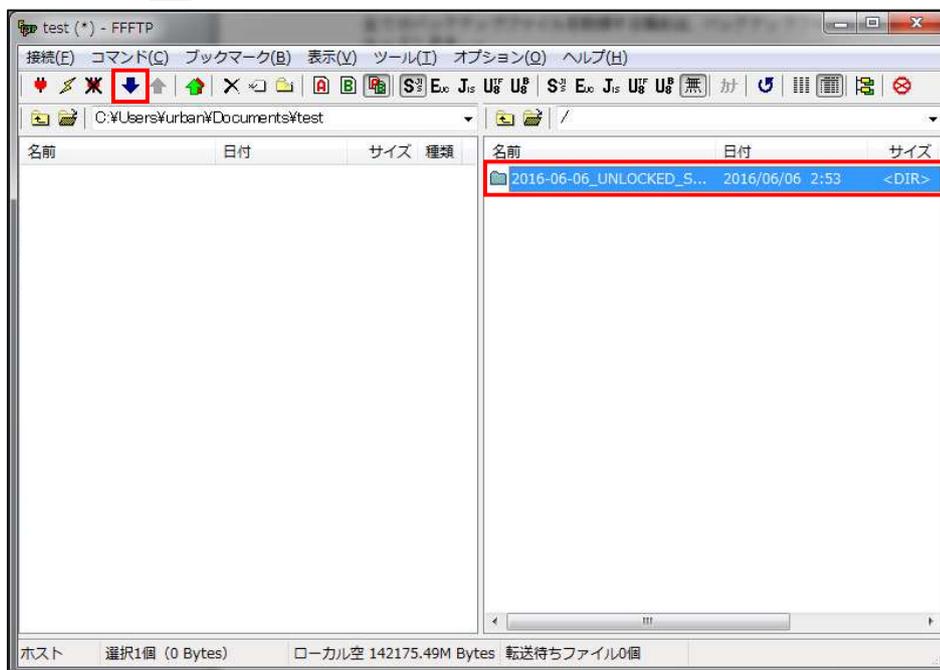
③「ホストの設定名」で入力した名前をクリックし「接続」をクリックします。



④FTPS で設定されている場合、以下の画面が表示されます。「はい」をクリックします。



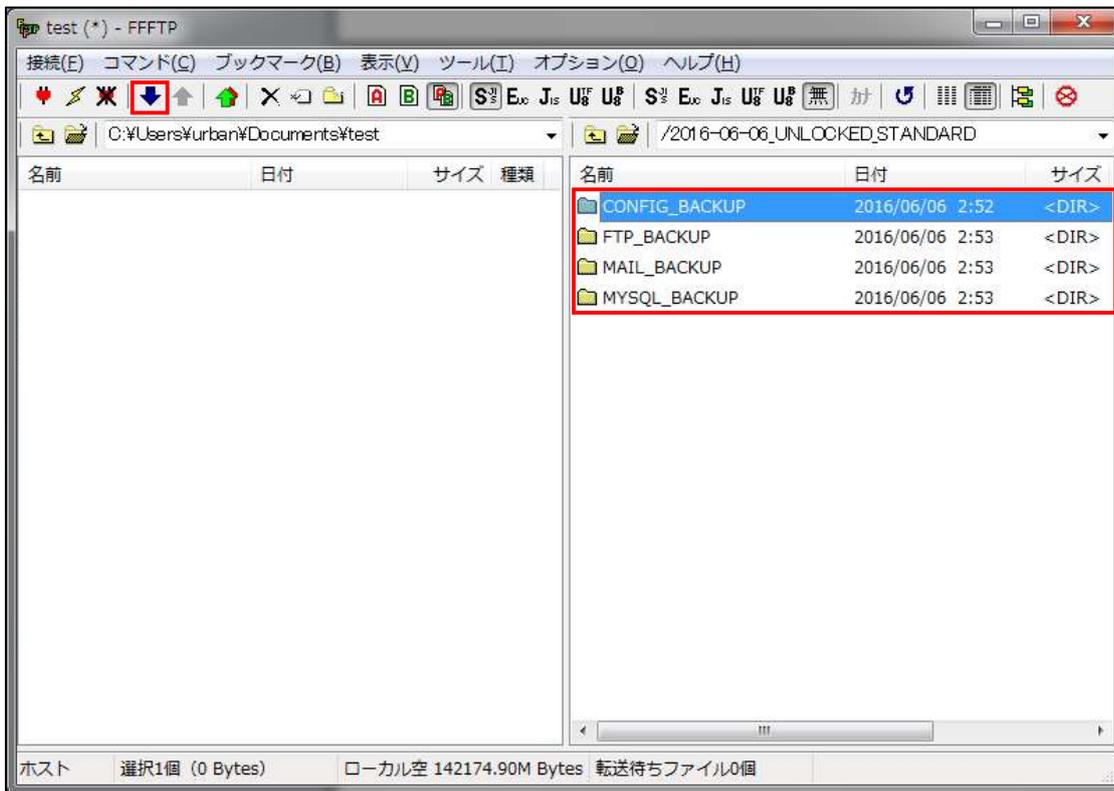
⑤全てのバックアップファイルを取得する場合は、バックアップファイルのディレクトリ名を選択し、ダウンロード「↓」をクリックします。



⑥ディレクトリ名フォルダ配下には、細かくフォルダが分かれています。

必要なデータを選択し、ダウンロード「↓」をクリックし、ダウンロードすることが可能です。

各フォルダに格納されているデータ一覧	
フォルダ名	格納データ
CONFIG_BACKUP	メールユーザ、Web ユーザ
FTP_BACKUP	Web 領域のファイル
MAIL_BACKUP	各ユーザのメール
MYSQL_BACKUP	データベース(MYSQL)



7. 保守、サポートについて

7.1. 保守

保守範囲や OS のアップデート（一部アプリケーションも含む）、それに伴うサーバ停止についてご説明いたします。

7.1.1. 保守と保守範囲について

サーバ監視、ハードウェア故障対応は 24 時間 365 日行います。

ハードウェアに起因する故障や不具合の場合、発見後、速やかに修理または交換で対応いたします。

ソフトウェアに起因する故障や不具合の場合、対象が OS やプリインストールされているアプリケーション等に関しましては、連絡受付後、速やかに復旧作業を開始いたします。

※お客様自身が設置されたアプリケーションに関しましては弊社保守対象外ですのでご理解ください。

7.1.2. アップデート

OS アップデート、各種セキュリティパッチは随時行われます。

お客様自身で設置されたアプリケーションのアップデートは、弊社では行いませんので、お客様の責任においてアップデートしていただく必要があります。

7.1.3. サービス停止

サービス停止が発生する場合は、**原則 2 営業日前までにメールにてお知らせします。**

7.2. サポートについて

サポートの方法、範囲、時間等をご説明いたします。

7.2.1. サポートの受付方法と時間

サポートは、電話および電子メールにて行います。

サポートの種類	受付時間/連絡先
技術的なサポート	受付時間：平日 9:00～12:00／13:00～17:20 ※土日祝祭日、年末年始、および弊社が定めた休日はお休みとなります。 電話番号：050-5526-1107 電子メール：webmaster@urban.ne.jp
契約関係のサポート	受付時間：平日 9:00～17:00 ※土日祝祭日、年末年始、および弊社が定めた休日はお休みとなります。 電話番号：082-548-8052 電子メール：sales@urban.ne.jp

7.2.2. サポート範囲

サポート対象の範囲と内容については以下の通りです。

サポート範囲	サポート内容
サポート対象	管理画面の基本操作、ホームページの開設方法、メールソフトの設定方法、各種エラーメッセージについてのサポートや不具合対応
サポート対象外	CGI/データベース/PHP などの使い方、サードパーティー製の各種アプリケーションの利用方法、お客様自身が設置されたアプリケーション

8. サービスの終了について

本サービスは、機器の老朽化や、新技術が搭載された現サービスを代替可能な新サービスの展開に伴いサービスを終了する場合があります。

その際は、3ヶ月以上前に連絡させていただきます。